取扱説明書

浴室外設置

保証書付

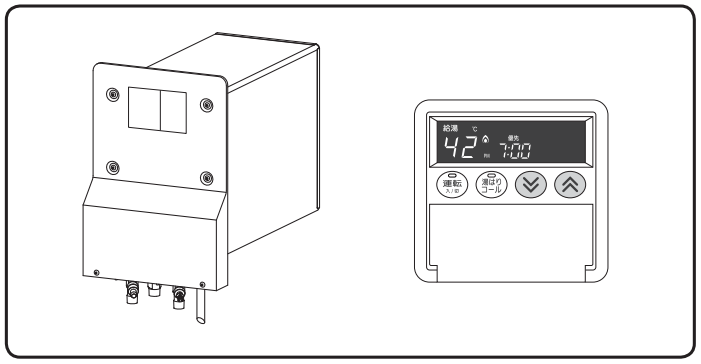
型式名	WFK-S1600 WFK-S1600-C

ガス給湯器

品　　名	HK-S516RFWH-QN	HK-S516RFCH-QN
機器コード	11-055-22-11649	11-055-22-11650

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

●ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用ください
●この説明書の 41 ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。



TOKYO GAS

734T1077FC

TOKYO GAS　共通お問い合わせ先

0570－002211 ※弊社お客さまセンターへ転送されます。

●日立、群馬、熊谷、宇都宮、甲府の各エリアのお客さま、およびＰＨＳ等共通お問い合わせ先をご利用できない場合は、下記へお問い合わせください。

ガスご使用場所		お問い合わせ先
茨城県	龍ヶ崎・牛久・つくば・取手市、利根・阿見町	0297-62-8111
	日立市	0294-22-4131
栃木県	宇都宮・真岡市、上三川・芳賀・高根沢町	028-634-1911
群馬県	高崎・前橋・藤岡市	027-322-2523
埼玉県	さいたま・川口・戸田・蕨・上尾・蓮田・久喜・白岡市、伊奈町	048-651-1131
	所沢市	042-524-2111
	朝霞・和光・新座市	03-5394-7700
	草加・八潮・三郷市	03-3603-0361
	熊谷・行田・鴻巣・深谷市	048-522-5171
千葉県	千葉・四街道・八街・印西・八千代・佐倉・白井市	043-242-6121
	木更津・君津・袖ヶ浦・富津市	0438-23-1245
東京都	千代田・中央・港・品川・大田区	03-5722-0111
	新宿・目黒・渋谷・中野区	03-5722-3111
	文京・台東・墨田・江東・荒川区	03-3842-0111
	世田谷区、調布・狛江市	03-3426-1111
	杉並区	03-3396-1111
	豊島・北・板橋・練馬区	03-5394-7700
	足立・葛飾・江戸川区	03-3603-0361
	八王子市	042-645-0511
	武蔵野・三鷹市	0422-54-0111
	町田市	042-742-6721
	立川・東村山・小平・国立・多摩・稲城・日野・昭島 国分寺・小金井・府中・東大和市	042-524-2111
	西東京・清瀬・東久留米市	042-463-0111
神奈川県	川崎市	044-245-2211
	横浜市	045-948-1100
	大和・相模原・座間・海老名・綾瀬市	042-742-6721
	横須賀・三浦市	046-823-1570
	逗子・鎌倉・藤沢市、葉山町	0466-26-0111
	茅ヶ崎・平塚・南足柄市、寒川・大磯・中井・開成町	0463-22-2616

●インターネットでのお問い合わせ・カタログのご請求等は、下記までお願いいたします。
「ご家庭のお客さま向けホームページ」　http://home.tokyo-gas.co.jp

東京ガス山梨	
甲府・中央市、昭和町、甲斐市	055(253)1341

■ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、上記のお問い合わせ先、または販売店にお願いします。

販売店名

製 造 者
株式会社 ハウステック
〒173-0004　東京都板橋区板橋 3-9-7（板橋センタービル）

■所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います（平成 24 年 10 月現在）

HK-S516RFWH-QN HK-S516RFCH-QN HK-S516RFWH-FQN HK-S516RFCH-FQN	11055221164911055221165011055221164711055221164801	

もくじ

はじめに
特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・2
各部の名まえとはたらき・・・・・・・・・・11

使用方法
初めてお使いいただくときは・・・・・・・・・18
時刻を合わせる・・・・・・・・・・・・・・19
お湯を使う（台所リモコンでの操作）・・・・20
お湯を使う（浴室リモコンでの操作）・・・・22
湯はりコール運転（湯はり量をブザーで確認）・・23
表示画面のモードを切替える・・・・・・・・25
エコ運転モードを設定する・・・・・・・・・26

このようなときは
凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）・・・29
長期間お湯を使用しないとき・・・・・・・・30

必要なときに
点検・お手入れ・・・・・・・・・・・・・・31
あんしん点検について・・・・・・・・・・・33

故障かな？
修理を依頼される前に・・・・・・・・・・・34
エラー表示がでたら・・・・・・・・・・・・36

その他
寸法図・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
アフターサービスについて・・・・・・40
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・巻末

はじめに　特　長

1 お好みの給湯温度でお湯が使えます。
リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37℃～ 60℃まで設定できます。

2 浴そうにおふろ場の給湯栓からお湯をはるとき、あらかじめお好みのお湯の量（湯はり量）を設定しておくと、そのお湯の量になったとき、リモコンのブザーでお知らせします。

3 エコ運転モードで省エネ、節水がはかれます。

主な記号の説明

記号	内容	記載例
▢	操作の順序を表します。	1
📖	参照していただきたいページを表します。	20
■	本製品が操作などにより、表示・動作する内容を表します。	■「運転ランプ」が点灯します。
●	操作をともなう、知っておいていただきたいことを表します。	●一度設定すれば記憶します。
◆	その他の知っておいていただきたいことを表します。	◆通常は、節電モードをおすすめします。

はじめに　安全上のご注意

■安全に使用していただくための重要な項目ですので、必ずお読みください。
■ここに示した事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず
お守りください。

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認してから本文をお読みください。

注意表示	意　味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行う事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気禁止		電源プラグを抜く
			接触禁止		ぬれた手の接触禁止

⚠ 危険

■ガス漏れに気づいたとき
① すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じる。
② 窓や戸を開ける。
③ お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

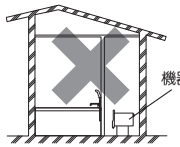
［ガス元栓の例］

必ず行う

● お買い求めの販売店または、東京ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、漏電ブレーカーの抜き差し、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」、周辺で電話を使用しないでください。
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火気禁止

■屋内に設置しない
● この機器は、屋外用（外壁貫通設置型）です。
絶対に屋内に設置しないでください。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となり大変危険です。

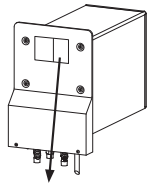


禁　止

⚠ 警告

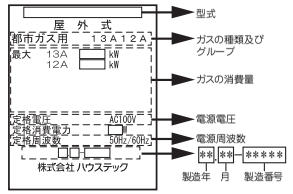
■使用ガスの種類及び使用電源の確認をする
● 機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、異常着火によるやけど、機器が故障する原因となります。
● 転居されたときも、供給ガスの種類が器具銘板のガスの種類と一致していることを必ず確かめてください。
分からない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。

◆ ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。



必ず行う

［都市ガス 13A12A の例］



安全上のご注意

⚠ 警 告

■機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに依頼する
- 不備があると火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。安全な位置に正しく設置してご使用ください。

必ず行う

■増改築などで機器や排気口を囲わない
波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない
- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

禁 止

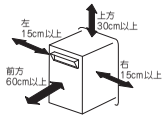
■ガス接続工事はお買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに依頼する
- この機器のガス接続はねじ接続です。不備があるとガス漏れの原因になります。

必ず行う

■使用中の外出、就寝はしない
- 思わぬ事故や故障の原因になります。

禁 止

■燃えやすい物とは離す（樹木、木材、箱など）
- 木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ（WF-SLV）を使用し、10mm 以上の離隔距離を確保してください。火災の原因になります。



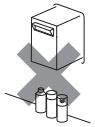
離隔距離

必ず行う

■機器の周囲に燃えやすいものを置かない
（洗濯物、新聞紙、灯油など）
- 引火して火災の原因になります。

禁 止

■機器や排気口の周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かない
- 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁 止

■機器や排気口の周囲で引火のおそれのある物
（スプレー、ガソリン、ベンジンなど）を使用しない
- 引火して火災の原因になります。

禁 止

⚠ 警 告

■シャワーなどお湯を使用するときは手で湯温を確認してから使用する
- 最初に熱いお湯が出ることがあります。また高温で使用直後、すぐに再度出湯する場合には熱いお湯が出ることがあります。やけどのおそれがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してからご使用ください。

必ず行う

高温注意

■入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する
- お湯はり中やお湯はり後は、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。やけどのおそれがあります。

必ず行う

高温注意

■地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う
① 給湯栓を閉める。
② 運転スイッチを「切」にする。
③ ガス元栓、給水元栓を閉める。

［ガス元栓の例］

［給水元栓の例］

必ず行う

■点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合は、ただちに使用を中止し、ガス元栓を閉める
- 「修理を依頼される前に」34、35 の項にしたがって処置をする。上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。

［ガス元栓の例］

必ず行う

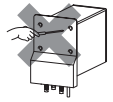
■浴そうのふたの上に乗ったり、手をついたりしない
- ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。

禁 止

■外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで機器本体（排気口）を覆うことがあります。そのような場合には使用しないでください
- 不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

禁 止

■分解・修理・改造は、自分でしない
- 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因となります。



分解禁止

安全上のご注意

⚠ 警告

■機器本体やガス接続口・排気口に乗ったり、無理な力を加えない
- けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

禁　止

■太陽熱温水器には絶対に接続しない
- ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。

禁　止

■電源コードを破損させたり、加工したりしない
傷んだまま、束ねたままで使用しない
電源コードに物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない
- 感電やショート、火災の原因になります。

禁　止

■漏電ブレーカーは根元まで完全に差し込む
- 差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
傷んだ漏電ブレーカー、緩んだコンセントは使わないでください。

必ず行う

■漏電ブレーカーのほこりなどは定期的に取る
- 漏電ブレーカーにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。漏電ブレーカーを抜き、乾いた布で拭いてください。

必ず行う

■ぬれた手で漏電ブレーカーにさわらない
- 感電のおそれがあります。

ぬれた手の接触禁止

■コンセントの定格を超える使い方をしない
- たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁　止

⚠ 警告

■電源コードを引っぱって漏電ブレーカーを抜かない
- 電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。

禁　止

■必ずアースする
- アース線をアース端子に取付けてください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

アース接続

安全上のご注意

⚠ 注意

■給湯時は湯水混合栓のハンドル以外に手を触れない
- やけどのおそれがあります。

高温注意

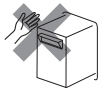
■給湯・シャワー・湯はり以外の用途には使用しない
- この機器は、給湯・シャワー・湯はり以外の用途には使用しないでください。
  思わぬ故障や事故の原因となります。

禁　止

■漏電ブレーカーを抜いて消火しない
- 燃焼中に漏電ブレーカーを抜いて消火しないでください。
  機器の故障のおそれがあります。

禁　止

■使用中、使用直後は排気口やケーシングに触れない
- 使用中および使用直後は、機器本体の排気口やケーシングは高温になっていますので絶対に手を触れないでください。
  特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



接触禁止

■給気口や排気口に指や棒を入れない
- 給気口や排気口に指や棒を入れないでください。
  けがや故障の原因となります。

禁　止

■子供を浴室内や浴そう内で遊ばせない
- 浴そうに落ちて、思わぬ事故につながる場合があります。
- おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。

注　意

■子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない
また、子供を機器の周囲や直下で遊ばせない
- 思わぬ事故の原因となります。

禁　止

■ドレン排出口・オーバーフロー配管から排出される水を飲料用、調理用、飼育用などには使用しない

禁　止

■機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する
もし、お客様で旧機器を処理する場合は、正規の処理を行う

必ず行う

お願い

■業務用の用途で使用しない
- この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。
  著しく機器の寿命が縮まります。

■増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないよう設置する
- 変色・破損・腐食の原因となります。

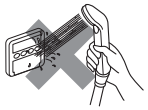
■塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する
- 塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
  また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
  （機器の点検・修理のための空間については、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせください。）

■設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので、十分配慮して設置する

■使用時の点火、使用後の消火を確認する
- 機器使用時の点火（リモコンの表示部に 🏠 が点灯）、使用後の消火（リモコンの表示部の 🏠 が消灯）を確認してください。

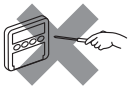
■この機器の付属品・純正部品以外は使用しない
- 機器の異常の原因になることがあります。

■リモコン清掃時に水をかけない
- 別売の浴室リモコンは防水タイプ（台所リモコンは防水ではありません）になっていますが、入浴中や、お掃除などで故意に水や洗剤をかけないでください。故障の原因となります。
  お掃除については「点検・お手入れ」31 にしたがって行ってください。



禁　止

■リモコンを分解しない
- 思わぬ事故や故障の原因となります。



分解禁止

■機器や配管内に長期間たまった水は飲用や調理に使用しない
- 朝一番などのように長時間たまっていた水は、雑用水としてご使用ください。

■井戸水、地下水、温泉水で使用しない。また、人工炭酸泉装置を使用しない
- 水質によっては本体内の配管内部に異物が付着したり、腐食による水漏れの原因になります。
  また、人工炭酸泉装置は、高濃度の炭酸ガスを湯に溶かしこむため弱酸性となります。そのため機器内の配管・浴そう内のふろアダプタ等が変色・腐食する場合があります。
  これらの場合は保証期間内でも修理は有料となります。

はじめに　安全上のご注意

お願い

■断水時には運転を停止し、給湯栓を閉める
- 給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
- 断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。
- 断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。
- 断水復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理に使用しない。

■雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を中止して
漏電ブレーカーをコンセントから抜く
- 故障の原因になります。
雷がやんだ後は、漏電ブレーカーをコンセントに差し込んでください。

電源プラグを抜く

■凍結による破損を防止する
- 機器内部の凍結予防は、「凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）」29 にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■積雪で排気口がふさがれているときは使用しない
- 不完全燃焼の原因になります。

■停電のときのご注意
- この機器は電気で作動しますので停電中は使用できません。
- 停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
- 停電復帰後も自動的に運転されませんので、「使用方法」18 ～ 28 にしたがって操作してください。
- 停電復帰後は、設定していた温度、湯量などが工場出荷時の設定になります。

■運転スイッチ「切」の状態でお湯側から水を出さない
- 機器内通水部分の結露により、故障の原因になることがあります。
（シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。）

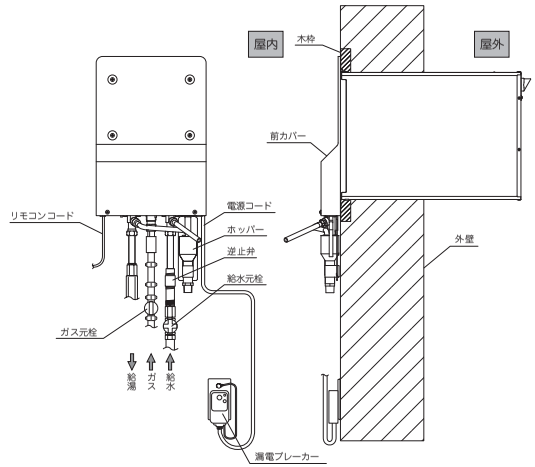
※ 水を流して凍結予防をする場合は、この限りではありません。

■運転中（機器燃焼時）のご注意
- 機器を使用中は、排気ガスが室内に流入しないよう浴室の窓や機器が設置されている近くの窓を閉めて使用してください。

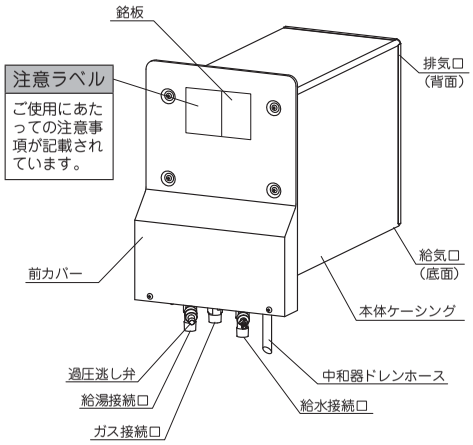
■長期間使用しない場合
- 長期間使用しない場合は、凍結及び万一のガス漏れを防止するため「長期間お湯を使用しないとき」30 にしたがって処置をしてください。

はじめに　各部の名まえとはたらき

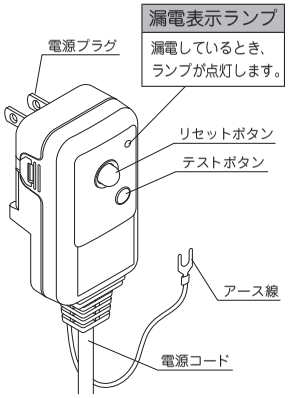
■標準設置例



■本体



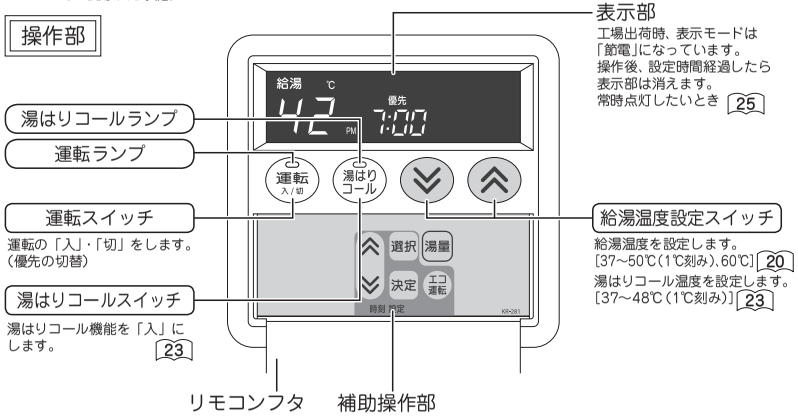
■漏電ブレーカー

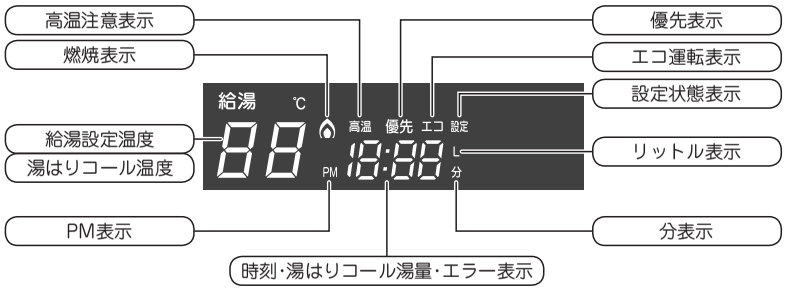


各部の名まえとはたらき

■台所リモコン（KR-281）

※フタを開けた状態

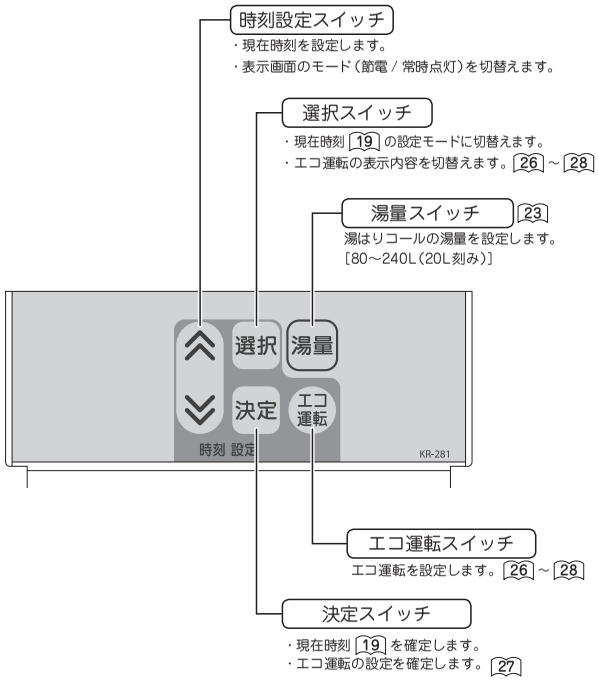




お知らせ

- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。
  しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

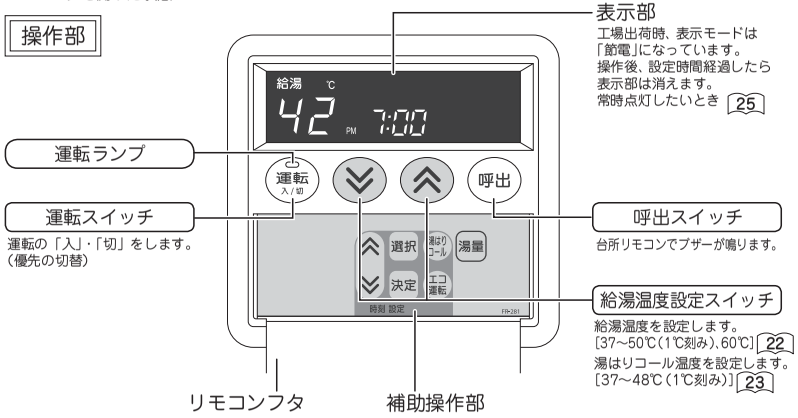
補助操作部

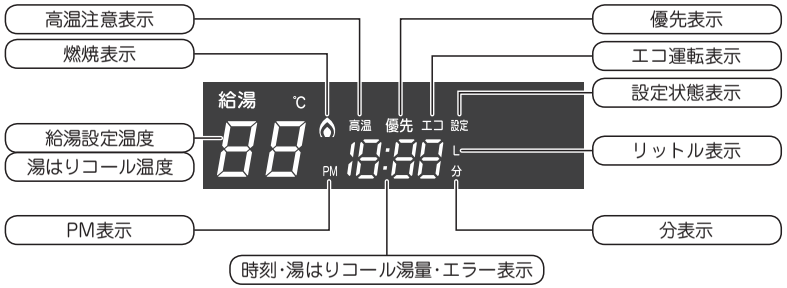


各部の名まえとはたらき

■浴室リモコン（別売部品　FR-281）

※フタを開けた状態

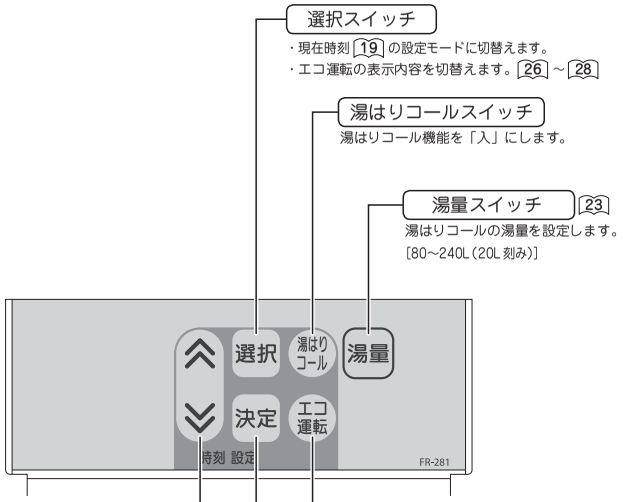




お知らせ

- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

補助操作部

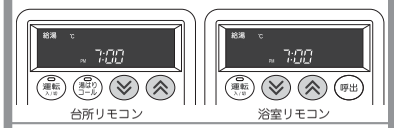


各部の名まえとはたらき

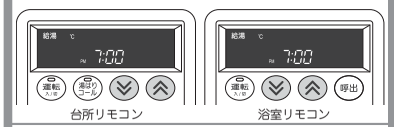
別売部品の浴室リモコンと合わせてお使いのときは

● 台所や浴室など機器からお湯を供給するところには、同じ温度のお湯が出ます。
そのため、浴室リモコンを接続した場合、給湯温度は 優先 が表示されているリモコンでしか変更できません。（優先権）
使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をしてください。
（「運転」スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。）

台所リモコンを「優先」にする場合

運転ランプが消灯しているとき	運転ランプが点灯し、浴室リモコンに 優先 が点灯しているとき
	
1 台所リモコンの 運転 を押す。 ■運転ランプが点灯します。 ■台所リモコンに 優先 が点灯します。	1 台所リモコンの 運転 を押す。 ■運転ランプが消灯します。 2 再度、台所リモコンの 運転 を押す。 ■運転ランプが点灯します。 ■台所リモコンに 優先 が点灯します。 このとき、浴室リモコンの 優先 は消灯します。

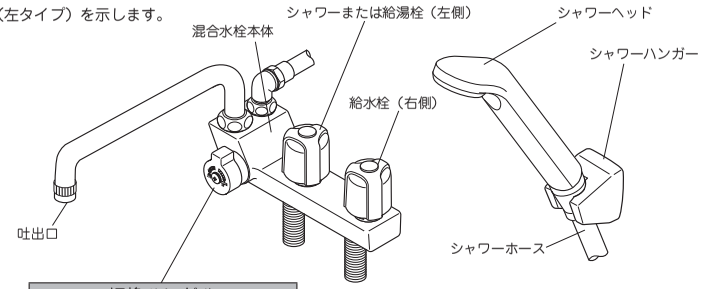
浴室リモコンを「優先」にする場合

運転ランプが消灯しているとき	運転ランプが点灯し、台所リモコンに 優先 が点灯しているとき
	
1 浴室リモコンの 運転 を押す。 ■運転ランプが点灯します。 ■浴室リモコンに 優先 が点灯します。	1 浴室リモコンの 運転 を押す。 ■浴室リモコンに 優先 が点灯します。 このとき、台所リモコンの 優先 は消灯します。

⚠シャワー等お湯を使用中切替えないでください。

■専用混合水栓（別売部品 シャワーセット VSM-20 R/L）

本図は、VSM-20L
（左タイプ）を示します。



※取扱い及び取付けについては、専用混合水栓（シャワーセット）に同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。
※混合水栓の故障修理についてはお買い求めの販売店または、混合水栓の取扱説明書に記載の連絡先へご連絡ください。

お知らせ

● 専用混合水栓でなく一時止水機能を持つ混合水栓をお使いの場合は、給湯・シャワーを使い終わった後に切換ハンドル（一時止水）だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。
一時止水がきかなくなるおそれがあります。

使用方法　初めてお使いいただくときは

使用前の準備と確認

○初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

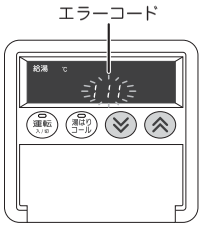
1. 給水栓をいっぱいに開ける。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認後、給湯栓、シャワー栓を閉める。
3. アース線をアース端子に取付ける。
4. 漏電ブレーカーを根元まで確実にコンセントに差し込む。
5. ガス元栓を全開にする。

お知らせ

- 停電復帰後、電源投入（再投入）時は、時計表示が - - - 、設定していた温度 などが工場出荷時の設定になります。

エラーコード 111 が表示したら

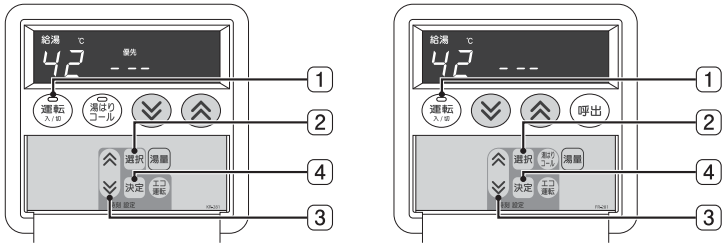
- はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、リモコンの運転ランプが点滅し、さらに時計表示部にエラーコード 111 が点滅し不着火をお知らせします。
  このような場合は、いったん給湯栓またはシャワー栓を閉じ、(運転)を押してエラーを解除し、再度 (運転) を押し、給湯栓を開ける操作を2～3回繰り返してください。



使用方法　時刻を合わせる

○電源を「ON」にした後は、必ず時刻を合わせてください。

台所リモコン　　浴室リモコン（別売）



1 (運転) **を押す。**

■運転ランプが点灯し、表示画面が点灯します。

時刻が未設定のとき

■ - - - 点滅

時刻が表示されているとき

■ : 点滅

2 選択 **を押す。**

■設定 が点滅し、3:00 が点灯します。

3 ⩓ ⩔ **で時刻を合わせる。**

- ⩓ を1回押すと1分進み、⩔ を1回押すと1分戻ります。
- 長押しすると10分単位で変わります。

4 決定 **を押して確定する。**

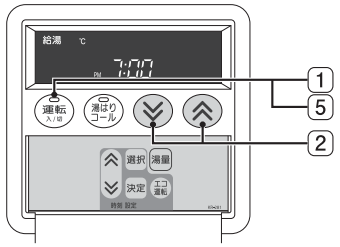
■設定 が消灯し、: が点滅します。

お知らせ

- 時刻は12時間表示になっています。「AM（午前）」「PM（午後）」が正しくあっているか確認してください。表示部には、PMのみ表示されます。

使用方法　**お湯を使う（温度設定）**台所リモコンでの操作

○シャワーや給湯の温度をお好みの温度に設定します。
（工場出荷時の設定は 42℃です。）



1 運転 入/切 **を押す。**

■運転ランプが点灯します。
●表示部に給湯設定温度が点灯していることを確認します。
●別売の浴室リモコンと合わせてご使用の場合は、優先 が点灯します。

2 ≫ ≪ **で温度を変更する。**

■温度は次のように設定できます。
37～50℃（1℃刻み）、60℃
●スイッチは1回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、≪ を押し続けると45℃までは連続で変わります。
◆一度設定すれば記憶します。（電源投入時または停電復帰後は42℃設定になります）

［40℃設定の状態］

給湯温度設定：37～50℃（1℃刻み）
60℃

3 **シャワー栓または給湯栓を開ける。**

■燃焼を開始し、⌂ が点灯します。
■しばらくしてお湯が出ます。
（お湯が出るまでの時間は、配管長さによって異なります）
◆別売の浴室リモコンと合わせてお使いの場合、浴室リモコン側の表示部にも ⌂ が点灯します。

⚠ 警告

■やけどに注意する
◆湯温を確認してから使用してください。
■混合水栓使用時のご注意
◆高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
◆高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には、熱いお湯が出るおそれがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

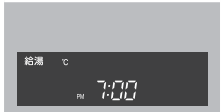
お湯を止めたいときは

4 **シャワー栓または給湯栓を閉める。**

■燃焼が止まり、⌂ が消灯します。
（再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます）

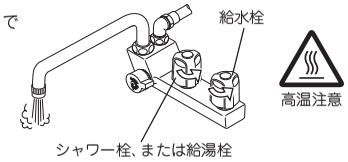
5 運転 入/切 **を押す。**

■運転ランプが消灯します。
■リモコン画面が時計表示のみになります。
●別売の浴室リモコンと合わせてお使いの場合、浴室リモコンの 運転 入/切 を押しても運転は停止できます。



シャワーの湯量が少ないとき（低水圧）

◆給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをおすすめします。この場合、給湯温度設定スイッチの ≪ で湯温を60℃に設定して使われることをおすすめします。
60℃設定にすると、高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせし、設定中は常に 高温 が2秒間隔で点滅します。
浴室リモコンからも高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせします。
◆湯と水をミキシングして使用する場合、湯温調節が難しい場合があります。
このとき、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると比較的やさしく調節できます。

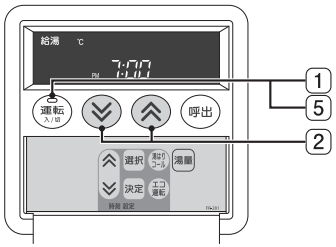


お知らせ

◆お湯の温度は季節や配管の施工状態により異なります。リモコンでの設定は目安としてお使いください。（給湯温度の表示は目安です。湯温を確認してから使用してください）
◆一度設定した温度は変更するまで記憶しています。
設定した温度が60℃の場合は、運転 入/切 を押し（切の状態）、次に 運転 入/切 を押したとき（入の状態）安全のため 42℃に変更されます。（37 ～ 50℃設定のときは、そのまま同じ温度が表示されます）
◆お湯の使い始めはしばらくの間、配管内の冷たい水が出ます。
お湯が出るまでの時間は、配管の長さによって異なります。
◆夏期など給水温度が 30℃近くなりますと、低温に設定しても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
◆トイレの水を流したりし、給水圧が変化した場合、一時的に湯温が変動することがあります。
◆ 優先 が点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。
使いたいリモコンを 優先 にする場合は 16 を参照してください。
◆台所リモコンのみでご使用の場合は 優先 は点灯しません。

使用方法　お湯を使う（温度設定）浴室リモコンでの操作

○シャワーや給湯の温度をお好みの温度に設定します。
（工場出荷時の設定は 42℃です。）



1 運転 入/切 **を押す。**
- ■運転ランプが点灯し、表示画面が点灯します。
- ●表示部に 優先 、給湯設定温度が点灯していることを確認します。

2 ≫ ≪ **で温度を変更する。**
- ■温度は次のように設定できます。37～50℃（1℃刻み）、60℃
- ■60℃に設定すると 高温 が点滅し、高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせします。
  台所リモコンからも高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせします。
- ●スイッチは1回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、≪ を押し続けると45℃までは連続で変わります。
- ◆一度設定すれば記憶します。
  （電源投入時または停電復帰後は 42℃設定になります）

［60℃設定の状態］

給湯温度設定：37～50℃（1℃刻み）
60℃

3 **シャワー栓または給湯栓を開ける。**
- ■燃焼を開始し、🔥 が点灯します。
- ■しばらくしてお湯が出ます。
  （お湯が出るまでの時間は、配管長さによって異なります）

お湯を止めたいときは

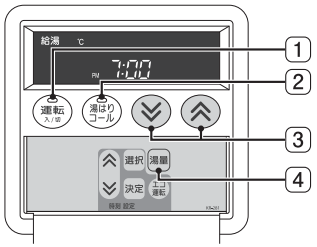
4 **シャワー栓または給湯栓を閉める。**
- ■燃焼が止まり、🔥 が消灯します。

5 運転 入/切 **を押す。**
- ■運転ランプが消灯します。
- ■リモコン画面が時計表示のみになります。

使用方法　湯はりコール（湯はり量をブザーで確認）

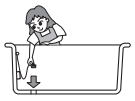
○設定した湯はり湯量をブザーでお知らせします。
（工場出荷時の設定は、湯はりコール温度 42℃、湯量 140 リットルです。）

浴そうに浴室の給湯栓からお湯をはるとき
あらかじめお好みのお湯の量（湯はり量）を
設定しておくとそのお湯の量になったとき
にリモコンのブザーでお知らせします。
（自動的にお湯はとまりません。）



運転前の準備と確認

1 **排水栓を閉めます。**



湯はりをする前に
必ず排水栓を閉めます。

1 運転 入/切 **を押す。**
- ■「運転ランプ」が点灯し、給湯設定温度が点灯します。

2 湯はり コール **（浴室リモコンは** 湯はり コール **）を押す。**
- ■「湯はりコールランプ」が点灯します。
- ■給湯設定温度は湯はりコール温度に変わります。

3 ≫ ≪ **で湯はりコール温度を変更する。**
- ■温度は次のように設定できます。
  37～48℃（1℃刻み）
- ●スイッチは1回押すたびに1℃ずつ調節できますが、≪ を押し続けると45℃までは連続で変わります。

使用方法　湯はりコール（湯はり量をブザーで確認）

4 湯量 **で湯はりコール（ブザー）の鳴る湯量を設定します。**

■湯量は次のように設定できます。
80～240リットル9段階（20リットル刻み）

● 湯量 を押すたびに、20リットルきざみの9段階まで選べます。
一度設定すれば記憶します。

◆最後に 湯量 を押した後、約5秒後に湯量が確定し、現在時刻表示に戻ります。

［湯量 140 リットルの場合］

5 **浴室の給湯栓を開け、お湯を浴そうへ落し込みます。**

■ が点灯します。

6 **ブザーが鳴ったら浴室の給湯栓を閉めます。**

■設定湯量になると、お湯はり完了ブザー「ピーピーピー」でお知らせし、「湯はりコールランプ」が消灯します。

◆別売の浴室リモコンと合わせてお使いの場合は、浴室リモコンからもブザーでお知らせします。

■ブザーが鳴ったら浴室の給湯栓を閉めます。

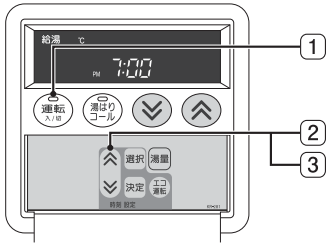
■設定湯量に給湯栓を閉めお湯がとまると、 が消灯します。

お知らせ

◆電源投入時または停電復帰後の湯はりコール温度は42℃、湯量140リットルになります。
◆湯はりコール運転中におふろ場の給湯栓を閉めると、運転は解除されブザー報知も解除されます。
◆湯はりコール運転使用後の給湯設定温度は、湯はりコール運転時に設定した温度に変わります。
給湯を使用する前に、給湯設定温度をお好みの温度に調節しご使用ください。
◆湯はりコール運転中に浴室以外の給湯栓を開けると、使用した分だけお湯はり量が減ります。
◆設定した湯はりコール湯量は、給湯栓からの給湯量です。湯水混合使用時は混合された水の量だけお湯はり量が増えます。
◆冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。
◆お湯はりをするときは浴そうの排水栓はしっかり閉めてください。
◆給湯栓が開いている状態で「湯はりコール」運転を開始することはできません。
◆ 湯はりコール を押したリモコンに優先権が移動します。

使用方法　表示画面のモードを切替える

○表示画面のモードを節電モード⇔常時点灯モードに切替えができます。
機器が運転中の場合は、切替えることができません。
（工場出荷時の設定は節電モードです。）



1 運転 **を押す。**

■運転ランプが点灯し、表示画面が点灯します。

2 **の上下を同時に約3秒間押す。**

■切替え音「ピッピッ」でお知らせします。
●節電モードから常時点灯モードに切替わります。
●表示画面が常時点灯します。

3 **もう一度節電モードにする場合は、 の上下を同時に約3秒間押す。**

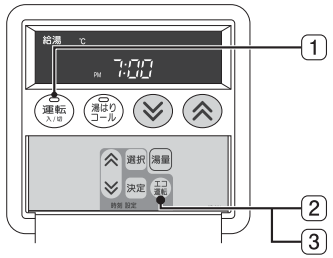
■切替え音「ピッピッ」でお知らせします。
●常時点灯モードから節電モードに切替わります。
●表示画面が消灯します。

お知らせ

◆通常は、節電モードをおすすめします。
◆節電モードでは、設定した時間操作しないと画面表示が消灯します。
消灯中にお湯を使ったり、スイッチを押すと点灯します。（設定方法は 27 、 28 を参照してください。）
●浴室リモコンをお使いの場合は、浴室リモコンも同様の操作で表示モードを変更できます。
◆台所リモコン、浴室リモコン別々に設定できます。
◆節電モードでも給湯設定温度が60℃に設定されている場合、安全のため画面表示は消灯しません。
◆本操作は 27 、 28 の 設定切替えと同期します。（表示画面が消灯するまでの時間は 27 、 28 で確認、変更してください。）

使用方法　エコ運転モードを設定する

○給湯量をひかえめにし、湯はりコール温度を最適にして節約します。



1 (運転 入/切) **を押す。**

■「運転ランプ」「給湯設定温度」が点灯します。

2 (エコ運転) **を押し、表示部の** エコ **を点灯させます。**

エコ運転をやめたいとき

3 **再度** (エコ運転) **を押し、表示部の** エコ **を消灯させます。**

お知らせ

- ◆エコ運転設定中は、水栓やシャワー水栓で水を混合せずにお湯を使用してください。（設定した湯量での電子音お知らせや制限流量にすることができなくなる場合があります。）
- ◆お湯を使用中に、エコ運転設定を解除しないでください。（湯温が不安定になる場合があります。）
- ◆28 の H1、H2、F1 のいずれかの設定が on になっていないと エコ 表示は点滅します。

エコ運転制御他の個別設定方法

1 (運転 入/切) **を切る。**

■運転ランプが消灯します。
■リモコン画面が時計表示のみになります。

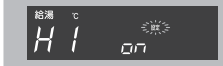
2 (エコ運転) **を押すと、エコ運転の個別設定モードになります。**

3 (選択) **を押すたびに、表示部の表示記号が変わります。**

H1 → H2 → F1 → c1 → c2 → PE → H1・・・　（表示記号は 28 を参照してください。）

■表示部に 設定 が点滅し、時計表示部に oF もしくは on が点灯します。

4 (▲▼) **で、** oF → on **もしくは、** on → oF **に切替えます。**

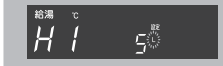


5 (決定) **で** 設定 **が点灯に変わり確定します。**

■表示記号が H1、H2、c1、c2 のとき on にすると、時計表示部に設定値が表示され末尾のアルファベット（Lもしくは分）が点滅します。（※）

(▲▼) で、お好みの設定量、設定時間、表示設定に変更し、(決定) で確定します。（※）

（Lもしくは分が点灯に変わります）



6 **再度** (エコ運転) **を押すと、個別設定を終了します。**

※ 表示部に表示される設定値の詳細は、28 を参照してください。

使用方法

エコ運転モードを設定する

お知らせ
エコ運転機能には下記のような内容が用意されています。
必要に応じて、リモコンで設定をおこなってご使用ください。
（設定方法は 27 を参照してください。）

※ 工場出荷時は、全て ON にて出荷しています。

区分	エコ運転No.	項　目	内　　容	節水	節ガス	節電
給湯	H1	連続使用量お知らせ	給湯連続使用中、設定した湯量をご使用のたびに電子音でお知らせします。 ● 10Lに設定した場合、連続10L使用時に電子音「ピッ」、さらに継続して10L（トータル20L）使用時に電子音「ピッピッ」など連続使用量を電子音でお知らせします。 ◆ 連続使用量お知らせ量の設定（設定方法は 27 を参照してください。） 5L ～ 50L［1L 刻み］ （工場出荷時設定値：10L）	（○）		
給湯	H2	給湯出湯流量制限	リモコンで上限の給湯流量を設定し、給湯流量を制限します。 ◆ 給湯制限流量の設定（設定方法は 27 を参照してください。） 6L（L/ 分）～ 12L（L/ 分）［1L（L/ 分）刻み］で設定できます。 （工場出荷時設定値：8L（L/ 分）） ※ 2ヶ所以上の水栓でお湯を使用すると、1つの水栓で使用できるお湯の量はさらに少なくなります。	○		
湯はり	F1	外気温度連動湯はり	前回以前の湯はりコール時の外気温を学習し、当日の湯はりコール給湯温度を補正します。 ●外気温度が高い場合に、湯はり温度を低くします。 ※ 最大で 2℃下がります。		○	

※ 湯はりコール運転時は、H1（連続使用量お知らせ）と H2（給湯出湯流量制限）は動作しません。

その他の設定項目として、下記内容の設定ができます。

区分	No.	項　目	内　　容	節水	節ガス	節電
その他	c1	省エネ表示	リモコンの表示画面を自動で消灯するまでの無操作時間を設定します。 ※台所リモコン、別売浴室リモコン別々に設定可能です。 ◆ LED消灯時間の設定（設定方法は 27 を参照してください。） 5分 ～ 30分［1分刻みで］で設定できます。 （工場出荷時設定：on 30分）			○
その他	c2	湯はりコール中時計表示	湯はりコール運転中、時計表示部に表示する項目を選択します。 oF：時計表示（工場出荷時設定） on → 1：湯はり量 カウントダウン ●ブザーが鳴るまでの湯はり量を表示します。 on → 2：湯はり時間 カウントダウン ●ブザーが鳴るまでのおおよその時間を分単位で表示します。 ※流量変動等により実際の時間と差が出る場合があります。		（○）	
	PE	個別設定の初期化	27 の 3 で PE を選択し、4 で on にして 決定 を押すと、『ピッピッピッ』と鳴り、上記 H1 ～ c2 の全ての設定を工場出荷時の状態に戻します。			

※ c1（省エネ表示）と c2（湯はりコール中時計表示）は、26 の エコ運転 と関係なく、本設定で機能します。

このようなときは

凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

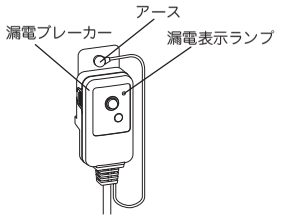
○冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。
次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1．通常の寒さのときの予防方法

凍結予防ヒーターによる方法

漏電ブレーカーを抜かない

◆ 抜けていると凍結予防ヒーターが作動しません。
◆ 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。
漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。 32



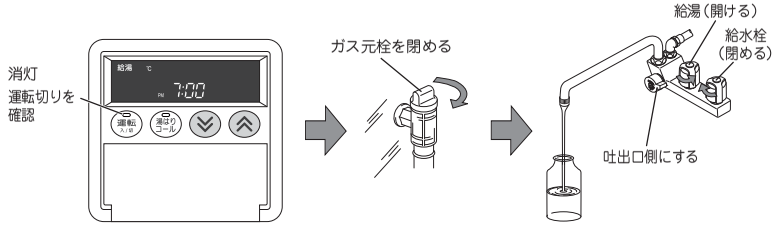
お知らせ

◆ この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、漏電ブレーカーをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。
◆ 凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。
◆ ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時－15℃まで、有風（4m／秒）時－10℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
◆ ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。
◆ この機器は外気温が－15℃以下になる場合には、凍結予防のために水抜き処置が必要です。 30

2．冷え込みの厳しいときの予防方法

通水による方法

1 リモコンが運転「切」（運転ランプ消灯）になっていることを確認する。
2 ガス元栓を閉める。
3 おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん2本分）ぐらいの水を浴そうに流し込む。
◆ 流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



このようなときは　凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

※ これらの処置をしても凍結するおそれがある場合は、水抜き 30 ［長期間お湯を使用しないとき］を行ってください。

お知らせ

- ◆凍結により、給湯栓・シャワー栓から水が出ないときは、使用しないでください。
- ◆凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
- ◆再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
- ◆凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（有料）
- ◆万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。

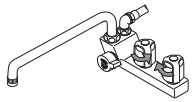
このようなときは　長期間お湯を使用しないとき

○長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1 ガス元栓を閉じる。

2 給水元栓を閉じる。

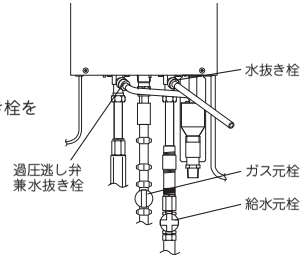
3 給水栓、給湯栓を開ける。



4 過圧逃し弁兼水抜き栓をゆるめる。

5 給水継手水抜き栓をゆるめて水を抜く。

※水抜き栓から出る水は、洗面器などでうけてください。
配管内の水が抜けたら、水抜き栓、過圧逃し弁兼水抜き栓を元通りにし、すべての給湯栓を閉じてください。



6 漏電ブレーカーをコンセントから抜く。

※給水及び給湯配管に水抜き栓がない場合は電源プラグをコンセントから抜いたり、配電盤のブレーカーを「切」にしたりしないでください。

●再使用については「初めてお使いいただくときは」18 にしたがってください。

必要なときに　点検・お手入れ

⚠ 注 意

■ お手入れの前には、ガス元栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行う
- ● 機器使用中および使用終了直後は、排気口や機器本体が高温になっていますので、やけどするおそれがあります。

高温注意

■ 機器やリモコンは、絶対に分解しない
- ● 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。

分解禁止

点検のポイント

- ● 機器の上やまわりに燃えやすいものがありませんか。4
- ● 給気口・排気口が布やビニールなどでふさがっていませんか。4
- ● 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
- ● ガスのにおいはしませんか。3 ガス漏れに気づいたとき
- ● 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。5
- ● 機器の外観に異常は見られませんか。
- ● 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。32 漏電ブレーカーの点検

お 願 い

機器外観やリモコンのお掃除をされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけて拭きとったあと、からぶきします。

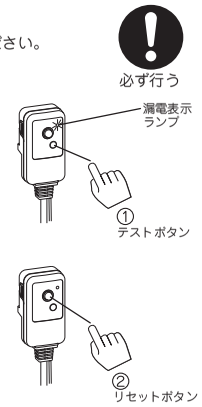
- ◆ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
- ◆シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれのおそれがあります。
- ◆リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。リモコンの故障の原因になります。
- ◆浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。

必要なときに　点検・お手入れ

■漏電ブレーカーの点検

● 漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を行ってください。
　① テストボタンを押します。　→漏電表示ランプが点灯します。
　② リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。
● 月に１回以上の作動確認を行ってください。

※ 正しく作動しないときは、機器の使用を止め、漏電ブレーカーを抜いて、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。
※ 点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら漏電ブレーカーを抜き、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。
※ 作動確認後は設定していた温度、湯量、現在時刻、湯はりコール設定温度などが工場出荷時の設定になります。
・給湯温度　42℃　　・湯はりコール湯量　140L
・現在時刻　－：－－　　・湯はりコール温度　42℃



必要なときに　あんしん点検について

機器の長期間ご使用時の「あんしん点検」（有料）のおすすめ

本製品は、設計上の標準使用期間※を１０年と算定しておりますので、ご使用開始から１０年前後をめどに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください（無料修理保証期間は保証書を参照願います）。

「あんしん点検」について

【点検の内容について】

・「あんしん点検」は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。
（法定点検ではありません）
・「あんしん点検」は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
・点検の実施は、東京ガスが委託した事業者が行います。
・点検の内容および点検基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」に定められた法定点検の内容、基準を参考に、当社で設定しています。
（例：製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など）
・点検終了後、「あんしん点検」の結果を、「点検作業票」にてお知らせします。
点検の結果、何らかの整備（修理・部品の交換など）が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただき、お客さまにご了解をいただいた上で行います。

【点検料金について】

・点検は有料で実施させていただきます。点検料金は、出張料、技術料などを合計した金額となります。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。
なお、「あんしん点検」の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
http://home.tokyo-gas.co.jp/userguide/anzen/tg/anshin_tenken.html

【点検を依頼されるとき】

・「あんしん点検」（有料・任意点検）については下記までお問い合わせください。

東京ガスお客さまセンター

03-3344-9199

●受付時間　月曜日～土曜日　9:00～19:00
日曜日・祝日　9:00～17:00

故障かな？ 修理を依頼される前に

次のことをお調べください

現　象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。32 ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。30
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを２ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 ●水量を絞りすぎていませんか。(夏) ●給水元栓が全開になっていますか。
設定した温度、時刻などが記憶されていない	●停電が起きていませんか。 ※１秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度、時刻、湯量等が初期値になります。32
給湯栓から出るお湯の量が少ない	●エコ運転を設定していませんか。26～28 ●２ヶ所以上の水栓でお湯を使用していませんか。21

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理　由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
運転スイッチが切れる。	給湯又はシャワーを連続１時間以上使用しますと、消し忘れ防止のため運転スイッチを切りにし、燃焼を停止します。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後約５分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
寒い日に排気口から白い湯気が出る。	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約 2L/ 分以下）と消火します。 また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯が出ない。	夏期水温が 30℃近くなりますと、給湯設定温度を低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
中和器ドレンホース近くの床が白くなる。	この機器は高効率のため、給湯使用中にドレン水が出ます。ドレン水に中和剤成分のカルシウムが溶けだし、床が白くなることがありますが、器具の異常ではありません。
運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモータが動く音（クックッ、クー）がする。	お湯を使用するときに、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音で、異常ではありません。

故障かな？　エラー表示がでたら

エラーコードの表示をお調べください

表示	故障と思われる範囲または原因	処　置
11 / 12	給湯不着火 給湯使用時、途中消火（失火）	ガス元栓の全開を確認し、運転スイッチを切りエラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
140	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。 給湯・湯はりが使用できなくなりますので、修理依頼をしてください。
141	出湯温異常	供給ガス圧の低下や、熱交換器のつまり等の故障が考えられます。このエラーが表示された場合は約５分間お湯を使用することができません。たびたびエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
293	中和器・ドレン経路づまり	中和器ドレン経路のつまりが考えられます。 エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。 それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。 なお、冬季は凍結により 293 を表示する場合がありますので、解けるのを待つか、修理依頼をしてください。
101 / 991	ファンほこりづまり	十分な給湯能力が出ない、または給湯・自動が使用できない状態ですので、修理依頼してください。
921 / 931	中和器交換警告	中和器の交換時期が近づくと 921 を表示し、しばらくすると 931 となり機器が使用できなくなります。中和器の交換が必要ですので、修理依頼してください。

⚠ エラーコードが点滅しているときは

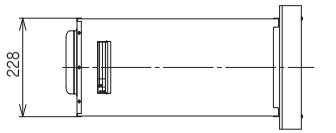
- この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）
- エラーコードの点滅解除は、(運転スイッチ) を押します。
- 機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（ 310, 311, 331, 721, 610, 700, 710 など ）が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。
- 使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、漏電ブレーカーの作動が考えられますので、32 の要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

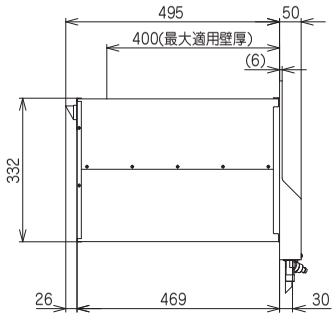
その他　メ　モ

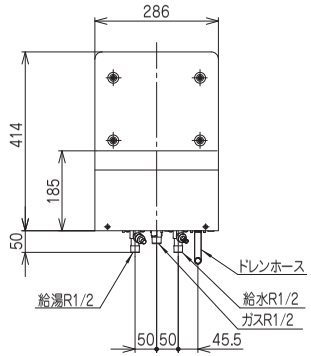
その他　寸　法　図

■本　体　（この図は、HK-S516RFWH-QN 型です。）

単位：mm



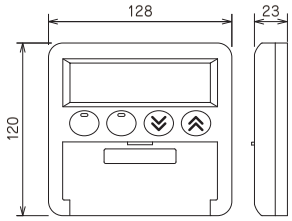




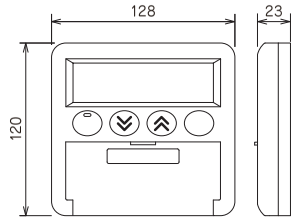
■リモコン

単位：mm

台所リモコン［KR-281］



浴室リモコン（別売部品）［FR-281］



その他　仕　　様

■　HK-S516RFWH-QN，HK-S516RFCH-QN 仕様表

項　目		仕　　様	
外形寸法（本体）		幅 286 ×高さ 464 ×奥行 545mm	
		幅 286 ×高さ 464 ×奥行 520mm	※1
壁貫通部寸法		幅 228 ×高さ 332 ×奥行 495mm	
		幅 228 ×高さ 332 ×奥行 470mm	※1
質量（本体）		21 kg	
		21 kg	※1
接続寸法	ガス	R1/2（TU 接続）	
	給水・給湯	R1/2	
標準ガス	ガス種	13A	12A
消費量 kW	給湯 最大	30.0（25,800kcal/h）	28.5（24,500kcal/h）
	給湯 最小	5.0（ 4,300kcal/h）	4.8（ 4,100kcal/h）
電気定格	電源	AC100V（50 / 60Hz）	
	消費電力	使用最大：55 W	
	凍結予防ヒーター	80 W	
最低作動水圧		19.6 kPa（0.2kgf/cm^2）	
使用水圧		53.9（動水圧）～ 784kPa（0.55 ～ 8kgf/cm^2）	
制御システム	給湯	フィードフォワード＋フィードバック式ガス比例制御	
	ファン制御	DC ファンによる回転数制御	
排気温度		260℃以下	
安全装置		・立消え安全装置　・過熱防止装置　・ファン回転検知 ・沸騰防止装置　・漏電ブレーカー　・過圧逃し弁 ・残火安全装置　・凍結予防用ヒーター	

※1 は HK-S516RFCH-QN の寸法、質量です。

■　出湯能力　　＊印は換算相当出湯能力を示す。

ガス種	標準号数（号）		温度上昇と標準出湯量（ﾘｯﾄﾙ／分）				
			水温 +15℃	水温 +25℃	水温 +30℃	水温 +40℃	水温 +50℃
13A	能力大	16	＊ 26.7	16.0	13.3	10.0	8.0
	能力小	2.5	4.1	2.5	–	–	–
12A	能力大	15	＊ 25.0	15.0	12.5	9.4	7.5
	能力小	2.4	3.9	2.4	–	–	–

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて

アフターサービスのお申し込み

アフターサービス（点検・修理）を依頼される前に
「修理を依頼される前に」34、35 を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、または
もよりの東京ガスへご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1．お客さま名、住所、電話番号、道順
2．品　名・・・HK-S516RFWH-QN　（機器コード 11-055-22-11649）または
　　HK-S516RFCH-QN　（機器コード 11-055-22-11650）
3．故障、異常の現象・・・（表示ランプの状態・エラーコードの表示など、できるだけ詳しく）
4．訪問ご希望日

転居される場合

●転居される場合には、転居先のガスの種類や設置条件を確認の上、お買い求めの販売店、または
もよりの東京ガスにご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や
設置条件によっては設置できない場合もあります。

保証・補修について

●保証期間中の故障修理について
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱
説明書（保証書付）を大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスにご相談ください。修理によって機能が維持できる
場合は、お客さまの要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品（機能を維持する
ために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後 10 年間です。

定期点検のおすすめ（有料）

●機器をより安全にお使い頂くために、定期的（年に一回程度）に点検を受けてお手入れされること
をおすすめします。

その他

●BL認定品には、機器の前面に BL マークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
一般財団法人ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

保証書

品　　名　HK-S516RFWH-QN
　　HK-S516RFCH-QN
型 式 名　WFK-S1600
　　WFK-S1600-C

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1　保証期間は、お買い上げの日から２年間とし本体（リモコンを含む）を対象とします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
　熱交換器……３年
2　万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出下さい。原則として、出張修理いたします。
3　サービス員がお伺いした時に、保証書をご提示下さい。
4　保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
（１）住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
（２）取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
（３）器具を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合はのぞきます）
（４）お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
（５）建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象
（６）強い腐食性の空気環境に起因する不具合
（７）犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
（８）火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
（９）電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
（１０）指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
（１１）給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
（１２）温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
（１３）本保証書を紛失された場合
5　無料修理やアフターサービス等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　東京ガス株式会社
〒105-8527　東京都港区海岸１丁目５番２０号

保証責任者　株式会社 ハウステック
〒173-0004　東京都板橋区板橋３―９―７（板橋センタービル）

■お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日		
販　売　店		取扱者	
住　　所			
電 話 番 号			

修理記録
この本体の修理記録は、前カバー裏に添付の作動フローチャートに記録します。

■お客さまへ
1　この保証書をお受け取りになる時に、販売店年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2　本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3　無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の頁をご覧ください。
4　この保証書によって保証書を発行している者（保証履行者・保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

取扱説明書

浴室内設置

保証書付

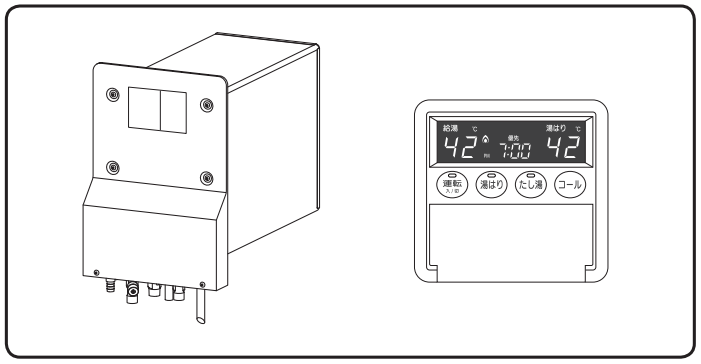
型式名	WFK-S1600SA WFK-S1600SA-C

ガス給湯器

品　　名	HK-S516RFWH-FQN	HK-S516RFCH-FQN
機器コード	11-055-22-11647	11-055-22-11648

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

●ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用ください
●この説明書の 45 ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。



TOKYO GAS

734T1076FC

TOKYO GAS　共通お問い合わせ先

0570－002211　※弊社お客さまセンターへ転送されます。

●日立、群馬、熊谷、宇都宮、甲府の各エリアのお客さま、およびＰＨＳ等共通お問い合わせ先をご利用できない場合は、下記へお問い合わせください。

ガスご使用場所		お問い合わせ先
茨城県	龍ヶ崎・牛久・つくば・取手市、利根・阿見町	0297-62-8111
	日立市	0294-22-4131
栃木県	宇都宮・真岡市、上三川・芳賀・高根沢町	028-634-1911
群馬県	高崎・前橋・藤岡市	027-322-2523
埼玉県	さいたま・川口・戸田・蕨・上尾・蓮田・久喜・白岡市、伊奈町	048-651-1131
	所沢市	042-524-2111
	朝霞・和光・新座市	03-5394-7700
	草加・八潮・三郷市	03-3603-0361
	熊谷・行田・鴻巣・深谷市	048-522-5171
千葉県	千葉・四街道・八街・印西・八千代・佐倉・白井市	043-242-6121
	木更津・君津・袖ヶ浦・富津市	0438-23-1245
東京都	千代田・中央・港・品川・大田区	03-5722-0111
	新宿・目黒・渋谷・中野区	03-5722-3111
	文京・台東・墨田・江東・荒川区	03-3842-0111
	世田谷区、調布・狛江市	03-3426-1111
	杉並区	03-3396-1111
	豊島・北・板橋・練馬区	03-5394-7700
	足立・葛飾・江戸川区	03-3603-0361
	八王子市	042-645-0511
	武蔵野・三鷹市	0422-54-0111
	町田市	042-742-6721
	立川・東村山・小平・国立・多摩・稲城・日野・昭島 国分寺・小金井・府中・東大和市	042-524-2111
	西東京・清瀬・東久留米市	042-463-0111
神奈川県	川崎市	044-245-2211
	横浜市	045-948-1100
	大和・相模原・座間・海老名・綾瀬市	042-742-6721
	横須賀・三浦市	046-823-1570
	逗子・鎌倉・藤沢市、葉山町	0466-26-0111
	茅ヶ崎・平塚・南足柄市、寒川・大磯・中井・開成町	0463-22-2616

●インターネットでのお問い合わせ・カタログのご請求等は、下記までお願いいたします。
「ご家庭のお客さま向けホームページ」　http://home.tokyo-gas.co.jp

東京ガス山梨	
甲府・中央市、昭和町、甲斐市	055(253)1341

■ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、上記のお問い合わせ先、または販売店にお願いします。

販売店名

製 造 者

株式会社 ハウステック

〒173-0004　東京都板橋区板橋 3-9-7（板橋センタービル）

■所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います（平成 24 年 10 月現在）

取扱説明書	HK-S516RFWH-QN HK-S516RFCH-QN HK-S516RFWH-FQN HK-S516RFCH-FQN	11055221164911055221165011055221164711055221164801

もくじ

はじめに
特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・2
各部の名まえとはたらき・・・・・・・・・・・11

使用方法
初めてお使いいただくときは・・・・・・・・・18
時刻を合わせる・・・・・・・・・・・・・・・19
お湯を使う（浴室リモコンでの操作）・・・・20
お湯を使う（台所リモコンでの操作）・・・・22
湯はり運転・・・・・・・・・・・・・・・・・23
たし湯運転・・・・・・・・・・・・・・・・・25
自動お湯はり運転予約・・・・・・・・・・・26
コール機能を使う・・・・・・・・・・・・・28
音量を変える・・・・・・・・・・・・・・・28
表示画面のモードを切替える・・・・・・・・29
エコ運転モードを設定する・・・・・・・・30

このようなときは
凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）・・・33
長期間お湯を使用しないとき・・・・・・・34

必要なときに
点検・お手入れ・・・・・・・・・・・・・・35
あんしん点検について・・・・・・・・・・37

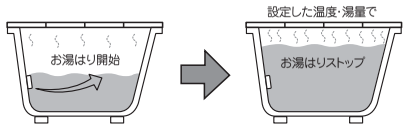
故障かな？
修理を依頼される前に・・・・・・・・・・38
エラー表示がでたら・・・・・・・・・・・40

その他
寸法図・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
アフターサービスについて・・・・・・44
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・巻末

はじめに　特　長

1 スイッチポンでお湯はりができます。

浴そうの排水栓と、ふたをして（湯はり）を押すと、あらかじめ決めておいた
お好みの湯温と湯量でお湯はりができます。



2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37℃～ 60℃まで設定できます。

3 エコ運転モードで省エネ、節水がはかれます。

主な記号の説明

記号	内容	記載例
□	操作の順序を表します。	(1)
📖	参照していただきたいページを表します。	(20)
■	本製品が操作などにより、表示・動作する内容を表します。	■「運転ランプ」が点灯します。
●	操作をともなう、知っておいていただきたいことを表します。	●一度設定すれば記憶します。
◆	その他の知っておいていただきたいことを表します。	◆通常は、節電モードをおすすめします。

はじめに　安全上のご注意

■安全に使用していただくための重要な項目ですので、必ずお読みください。
■ここに示した事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認してから本文をお読みください。

注意表示	意　味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行う事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気禁止		電源プラグを抜く
			接触禁止		ぬれた手の接触禁止

⚠ 危険

■ガス漏れに気づいたとき
① すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じる。
② 窓や戸を開ける。
③ お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

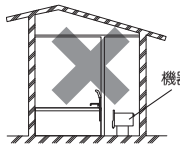
［ガス元栓の例］

必ず行う

● お買い求めの販売店または、東京ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、漏電ブレーカーの抜き差し、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」、周辺で電話を使用しないでください。
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火気禁止

■屋内に設置しない
● この機器は、屋外用（外壁貫通設置型）です。
絶対に屋内に設置しないでください。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となり大変危険です。

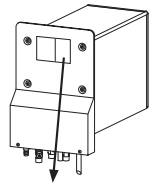


禁　止

⚠ 警告

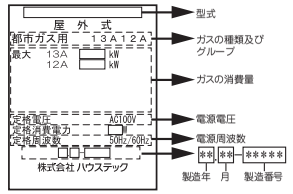
■使用ガスの種類及び使用電源の確認をする
● 機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、異常着火によるやけど、機器が故障する原因となります。
● 転居されたときも、供給ガスの種類が器具銘板のガスの種類と一致していることを必ず確かめてください。
分からない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。

◆ ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。



必ず行う

［都市ガス 13A12A の例］



安全上のご注意

⚠ 警 告

■機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに依頼する
- 不備があると火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。安全な位置に正しく設置してご使用ください。

必ず行う

■増改築などで機器や排気口を囲わない
波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない
- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

禁 止

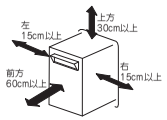
■ガス接続工事はお買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに依頼する
- この機器のガス接続はねじ接続です。不備があるとガス漏れの原因になります。

必ず行う

■使用中の外出、就寝はしない
- 思わぬ事故や故障の原因になります。

禁 止

■燃えやすい物とは離す（樹木、木材、箱など）
- 木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ（WF-SLV）を使用し、10mm 以上の離隔距離を確保してください。火災の原因になります。



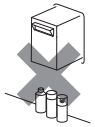
離隔距離

必ず行う

■機器の周囲に燃えやすいものを置かない
（洗濯物、新聞紙、灯油など）
- 引火して火災の原因になります。

禁 止

■機器や排気口の周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かない
- 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁 止

■機器や排気口の周囲で引火のおそれのある物
（スプレー、ガソリン、ベンジンなど）を使用しない
- 引火して火災の原因になります。

禁 止

⚠ 警 告

■シャワーなどお湯を使用するときは手で湯温を確認してから使用する
- 最初に熱いお湯が出ることがあります。また高温で使用直後、すぐに再度出湯する場合には熱いお湯が出ることがあります。やけどのおそれがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してからご使用ください。

必ず行う

高温注意

■入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する
- お湯はり中やお湯はり後は、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。やけどのおそれがあります。

必ず行う

高温注意

■お湯はり時は、ふろアダプタに近づかない
- お湯はり時は、ふろアダプタから熱いお湯が出ますので、ふろアダプタの下の吐出口に手や体を近づけないようにしてください。やけどのおそれがあります。

禁 止

■地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う
① 給湯栓を閉める。
② 運転スイッチを「切」にする。
③ ガス元栓、給水元栓を閉める。

［ガス元栓の例］

［給水元栓の例］

必ず行う

■点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合は、ただちに使用を中止し、ガス元栓を閉める
- 「修理を依頼される前に」38、39の項にしたがって処置をする。上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。

［ガス元栓の例］

必ず行う

■浴そうのふたの上に乗ったり、手をついたりしない
- ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。

禁 止

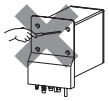
■外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで機器本体（排気口）を覆うことがあります。そのような場合には使用しないでください
- 不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

禁 止

はじめに　安全上のご注意

⚠ 警 告

■分解・修理・改造は、自分でしない
- 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因となります。



■機器本体やガス接続口・排気口に乗ったり、無理な力を加えない
- けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

■太陽熱温水器には絶対に接続しない
- ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。

■電源コードを破損させたり、加工したりしない
傷んだまま、束ねたままで使用しない
電源コードに物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない
- 感電やショート、火災の原因になります。

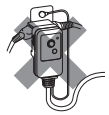
■漏電ブレーカーは根元まで完全に差し込む
- 差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
傷んだ漏電ブレーカー、緩んだコンセントは使わないでください。

■漏電ブレーカーのほこりなどは定期的に取る
- 漏電ブレーカーにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。漏電ブレーカーを抜き、乾いた布で拭いてください。

■ぬれた手で漏電ブレーカーにさわらない
- 感電のおそれがあります。

⚠ 警 告

■コンセントの定格を超える使い方をしない
- たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



■電源コードを引っぱって漏電ブレーカーを抜かない
- 電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。

■必ずアースする
- アース線をアース端子に取付けてください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意

■給湯時は湯水混合栓のハンドル以外に手を触れない
- やけどのおそれがあります。

高温注意

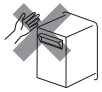
■給湯・シャワー・湯はり以外の用途には使用しない
- この機器は、給湯・シャワー・湯はり以外の用途には使用しないでください。
  思わぬ故障や事故の原因となります。

禁　止

■漏電ブレーカーを抜いて消火しない
- 燃焼中に漏電ブレーカーを抜いて消火しないでください。
  機器の故障のおそれがあります。

禁　止

■使用中、使用直後は排気口やケーシングに触れない
- 使用中および使用直後は、機器本体の排気口やケーシングは高温になっていますので絶対に手を触れないでください。
  特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



接触禁止

■給気口や排気口に指や棒を入れない
- 給気口や排気口に指や棒を入れないでください。
  けがや故障の原因となります。

禁　止

■子供を浴室内や浴そう内で遊ばせない
また、浴そうのふろアダプタ付近に潜ったりしない
- 浴そうに落ちて、思わぬ事故につながる場合があります。
- おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。

注　意

■子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない
また、子供を機器の周囲や直下で遊ばせない
- 思わぬ事故の原因となります。

禁　止

■ドレン排出口・オーバーフロー配管から排出される水を飲料用、調理用、飼育用などには使用しない

禁　止

■機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する
もし、お客様で旧機器を処理する場合は、正規の処理を行う

必ず行う

お願い

■業務用の用途で使用しない
- この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。
  著しく機器の寿命が縮まります。

■増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないよう設置する
- 変色・破損・腐食の原因となります。

■塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する
- 塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
  また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
  （機器の点検・修理のための空間については、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせください。）

■設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので、十分配慮して設置する

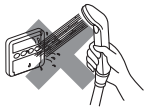
■使用時の点火、使用後の消火を確認する
- 機器使用時の点火（リモコンの表示部に 🏠 が点灯）、使用後の消火（リモコンの表示部の 🏠 が消灯）を確認してください。

■浴そう内のふろアダプタをタオルなどでふさがない
- お湯はり不良となり、故障の原因になることがあります。

禁　止

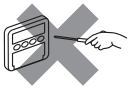
■この機器の付属品・純正部品以外は使用しない
- 機器の異常の原因になることがあります。

■リモコン清掃時に水をかけない
- 浴室リモコンは防水タイプ（別売の台所リモコンは防水ではありません）になっていますが、入浴中や、お掃除などで故意に水や洗剤をかけないでください。故障の原因となります。
  お掃除については「点検・お手入れ」35 にしたがって行ってください。



禁　止

■リモコンを分解しない
- 思わぬ事故や故障の原因となります。



分解禁止

■機器や配管内に長期間たまった水は飲用や調理に使用しない
- 朝一番などのように長時間たまっていた水は、雑用水としてご使用ください。

はじめに　安全上のご注意

お願い

■井戸水、地下水、温泉水で使用しない。また、人工炭酸泉装置を使用しない
- 水質によっては本体内の配管内部に異物が付着したり、腐食による水漏れの原因になります。
  また、人工炭酸泉装置は、高濃度の炭酸ガスを湯に溶かしこむため弱酸性となります。そのため機器内の配管・浴そう内のふろアダプタ等が変色・腐食する場合があります。
  これらの場合は保証期間内でも修理は有料となります。

■断水時には運転を停止し、給湯栓を閉める
- 給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
- 断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。
- 断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。
- 断水復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理に使用しない。

■雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を中止して
漏電ブレーカーをコンセントから抜く
- 故障の原因になります。
  雷がやんだ後は、漏電ブレーカーをコンセントに差し込んでください。

■凍結による破損を防止する
- 機器内部の凍結予防は、「凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）」33、34 にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■積雪で排気口がふさがれているときは使用しない
- 不完全燃焼の原因になります。

■停電のときのご注意
- この機器は電気で作動しますので停電中は使用できません。
- 停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
- 停電復帰後も自動的に運転されませんので、「使用方法」18 ～ 32 にしたがって操作してください。
- 停電復帰後は、設定していた温度、湯量などが工場出荷時の設定になります。

■運転スイッチ「切」の状態でお湯側から水を出さない
- 機器内通水部分の結露により、故障の原因になることがあります。
  （シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。）

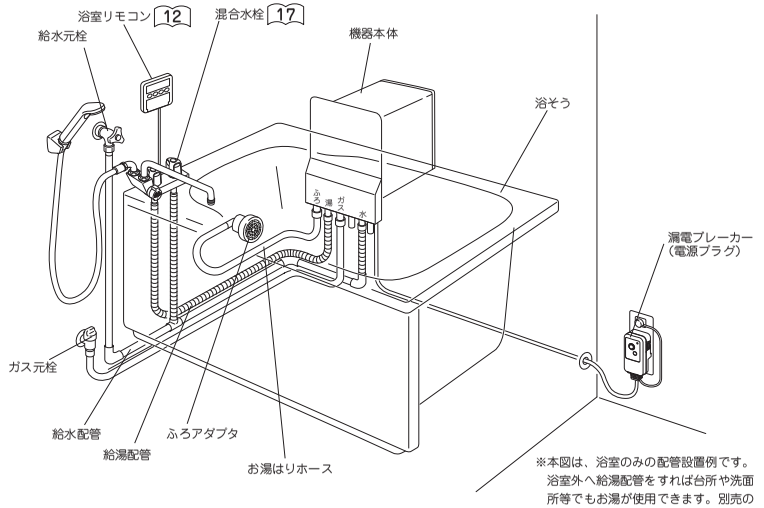
※ 水を流して凍結予防をする場合は、この限りではありません。

■運転中（機器燃焼時）のご注意
- 機器を使用中は、排気ガスが室内に流入しないよう浴室の窓や機器が設置されている近くの窓を閉めて使用してください。

■長期間使用しない場合
- 長期間使用しない場合は、凍結及び万一のガス漏れを防止するため「長期間お湯を使用しないとき」34 にしたがって処置をしてください。

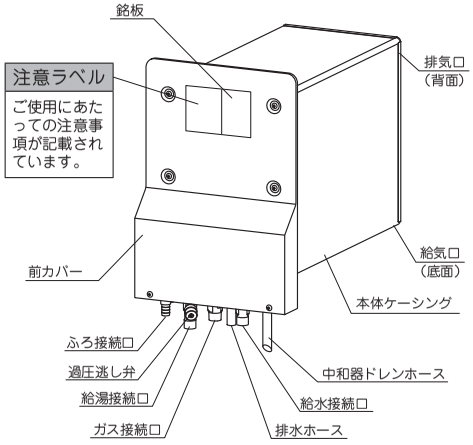
はじめに　各部の名まえとはたらき

■標準設置例

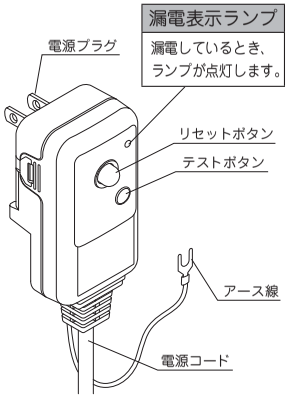


※本図は、浴室のみの配管設置例です。
浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。別売の台所リモコン 14 もあります。

■本体



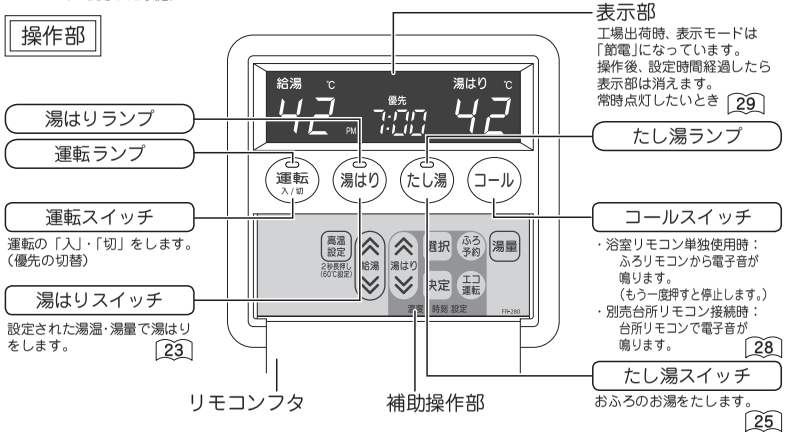
■漏電ブレーカー



各部の名まえとはたらき

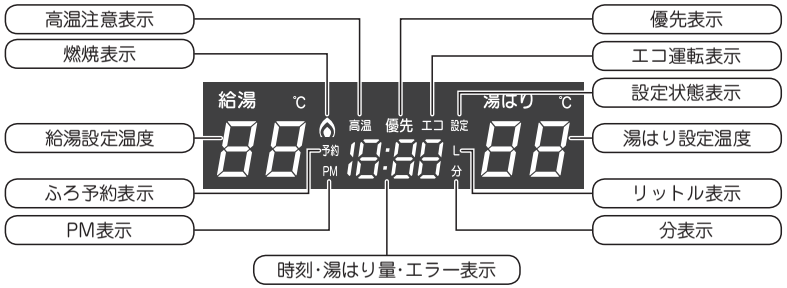
■浴室リモコン（FR-280）

※フタを開けた状態



表示部

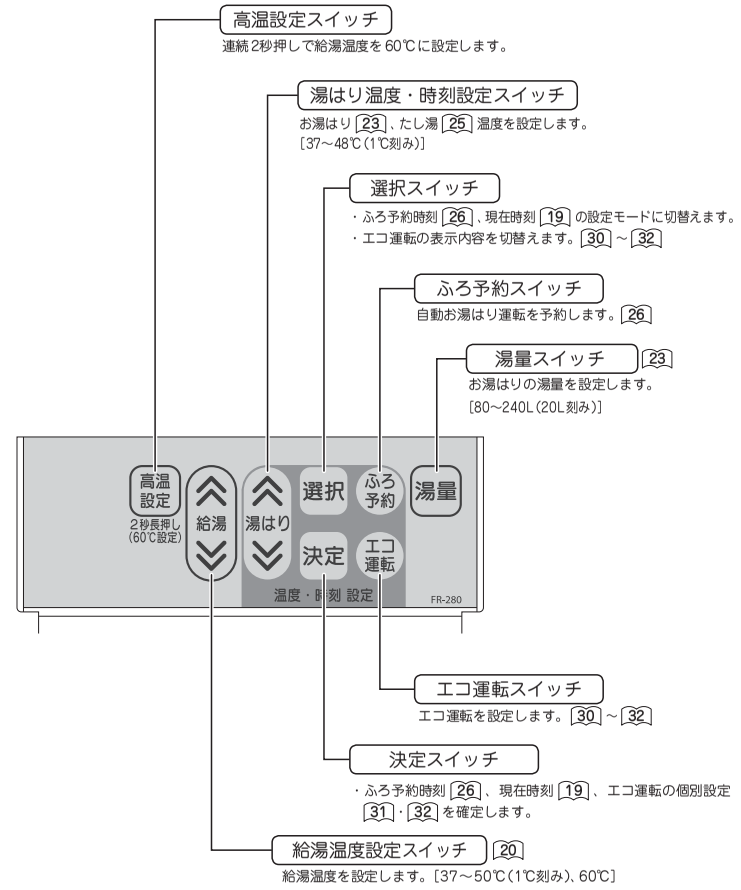
※下記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。
※浴室リモコンのみをお使いの場合、優先表示は点灯しません。



お知らせ

- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

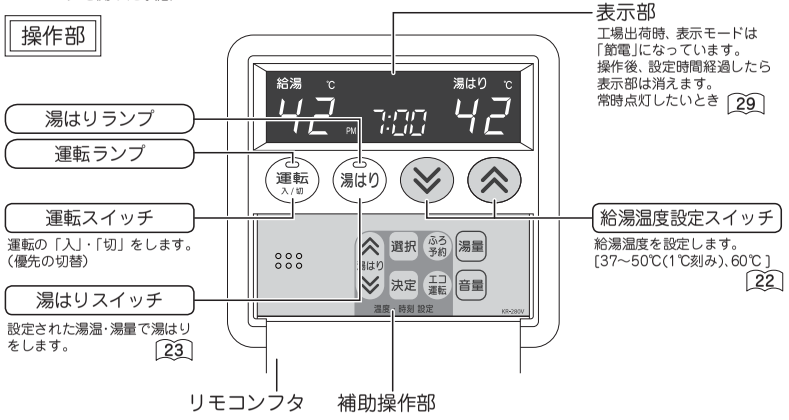
補助操作部



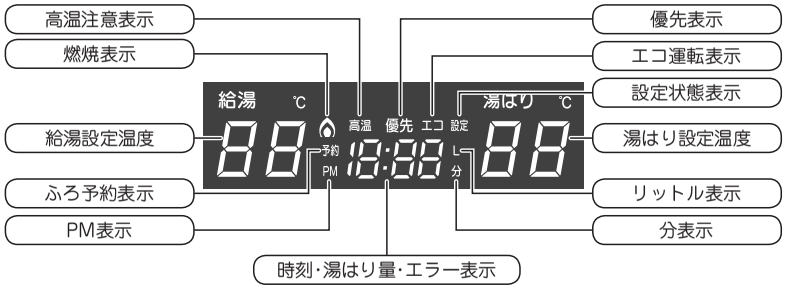
各部の名まえとはたらき

■台所リモコン（別売部品　KR-280V）

※フタを開けた状態



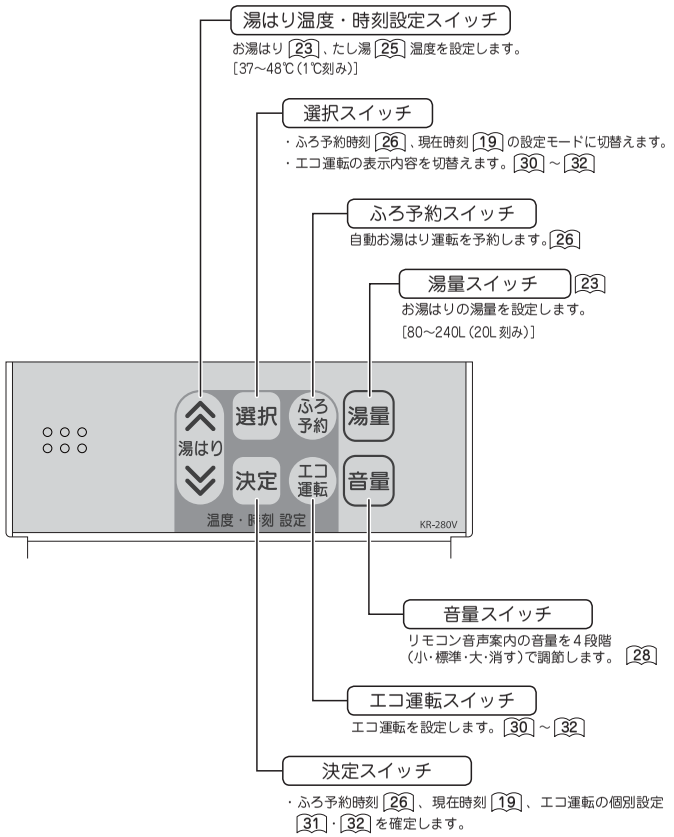
表示部　※下記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。



お知らせ

- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。
  しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

補助操作部

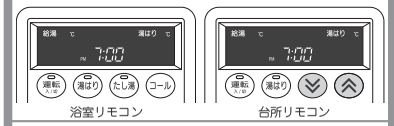


別売部品の台所リモコンと合わせてお使いのときは

●浴室や台所など機器からお湯を供給するところには、同じ温度のお湯が出ます。
そのため、台所リモコンを接続した場合、給湯温度は 優先 が表示されているリモコンでしか変更できません。（優先権）
使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をしてください。
（「運転」スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。）

浴室リモコンを「優先」にする場合

運転ランプが消灯しているとき



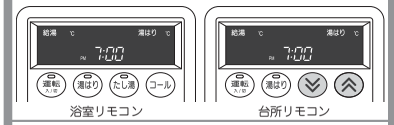
1 浴室リモコンの 運転 入/切 を押す。
■運転ランプが点灯します。
■浴室リモコンに 優先 が点灯します。

運転ランプが点灯し、
台所リモコンに 優先 が点灯しているとき

1 浴室リモコンの 運転 入/切 を押す。
■浴室リモコンに 優先 が点灯します。
このとき、台所リモコンの 優先 は消灯します。

台所リモコンを「優先」にする場合

運転ランプが消灯しているとき



1 台所リモコンの 運転 入/切 を押す。
■運転ランプが点灯します。
■台所リモコンに 優先 が点灯します。

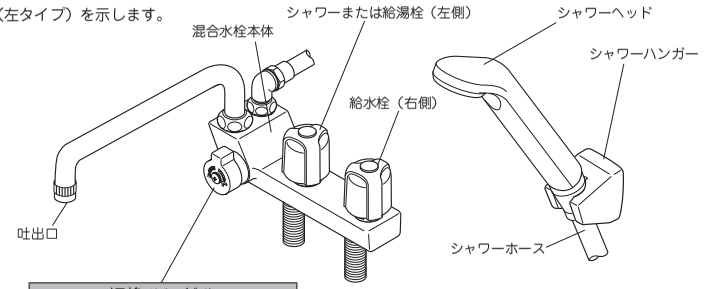
運転ランプが点灯し、
浴室リモコンに 優先 が点灯しているとき

1 台所リモコンの 運転 入/切 を押す。
■運転ランプが消灯します。
2 再度、台所リモコンの 運転 入/切 を押す。
■運転ランプが点灯します。
■台所リモコンに 優先 が点灯します。
このとき、浴室リモコンの 優先 は消灯します。

⚠シャワー等お湯を使用中切替えないでください。

■専用混合水栓（別売部品 シャワーセット VSM-20 R/L）

本図は、VSM-20L
（左タイプ）を示します。



※取扱い及び取付けについては、専用混合水栓（シャワーセット）に同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。
※混合水栓の故障修理についてはお買い求めの販売店または、混合水栓の取扱説明書に記載の連絡先へご連絡ください。

お知らせ
●専用混合水栓でなく一時止水機能を持つ混合水栓をお使いの場合は、給湯・シャワーを使い終わった後に切換ハンドル（一時止水）だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。
一時止水がきかなくなるおそれがあります。

使用方法　初めてお使いいただくときは

使用前の準備と確認

○初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

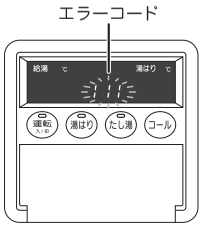
1. 給水栓をいっぱいに開ける。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認後、給湯栓、シャワー栓を閉める。
3. アース線をアース端子に取付ける。
4. 漏電ブレーカーを根元まで確実にコンセントに差し込む。
5. ガス元栓を全開にする。

お知らせ

- 停電復帰後、電源投入（再投入）時は、時計表示が [- - -]、設定していた温度 などが工場出荷時の設定になります。

エラーコード 111 が表示したら

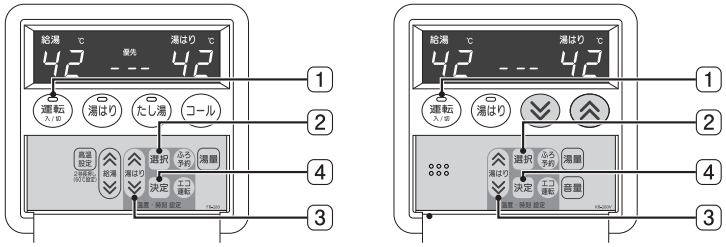
- はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、リモコンの運転ランプが点滅し、さらに時計表示部にエラーコード [111] が点滅し不着火をお知らせします。
  このような場合は、いったん給湯栓またはシャワー栓を閉じ、(運転) を押してエラーを解除し、再度 (運転) を押し、給湯栓を開ける操作を2～3回繰り返してください。



使用方法　時刻を合わせる

○電源を「ON」にした後は、必ず時刻を合わせてください。

浴室リモコン　　台所リモコン（別売）



1 (運転) **を押す。**

■運転ランプが点灯し、表示画面が点灯します。

時刻が未設定のとき	時刻が表示されているとき
■[- - -] 点滅	■[:] 点滅

2 [選択] **を押す。**

■[設定] が点滅し、[3:00] が点灯します。

2 [選択] **を２回押す。**

■[設定] が点滅し、[:] が点灯します。

3 [∧∧] [∨∨] **で時刻を合わせる。**

- [∧∧] を１回押すと１分進み、[∨∨] を１回押すと１分戻ります。
- 長押しすると10分単位で変わります。

4 [決定] **を押して確定する。**

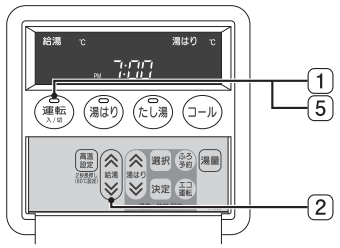
■[設定] が消灯し、[:] が点滅します。

お知らせ

- 現在時刻の設定がされていないと、「自動お湯はり運転予約」機能は動作しません。
- 時刻は12時間表示になっています。「AM（午前）」「PM（午後）」が正しくあっているか確認してください。表示部には、PM のみ表示されます。

使用方法　お湯を使う（温度設定）浴室リモコンでの操作

○シャワーや給湯の温度をお好みの温度に設定します。
（工場出荷時の設定は 42℃です。）



1 運転 入/切 **を押す。**

■運転ランプが点灯します。
●表示部に給湯設定温度が点灯していることを確認します。
●別売の台所リモコンと合わせてご使用の場合は、優先 が点灯します。

2 給湯 **で温度を変更する。**

■温度は次のように設定できます。
37～50℃（1℃刻み）、60℃
●スイッチは1回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、
を押し続けると45℃までは連続で変わります。
◆一度設定すれば記憶します。（電源投入時または停電復帰後は 42℃設定になります）

［40℃設定の状態］

給湯温度設定：37～50℃（1℃刻み）
60℃

3 **シャワー栓または給湯栓を開ける。**

■燃焼を開始し、 が点灯します。
■しばらくしてお湯が出ます。
（お湯が出るまでの時間は、配管長さによって異なります）
◆別売の台所リモコンと合わせてお使いの場合、台所リモコン側の表示部にも が点灯します。

⚠ 警告

■やけどに注意する
◆湯温を確認してから使用してください。
■混合水栓使用時のご注意
◆高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
◆高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には、熱いお湯が出るおそれがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

お湯を止めたいときは

4 **シャワー栓または給湯栓を閉める。**

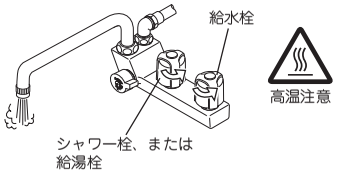
■燃焼が止まり、 が消灯します。
（再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます）

5 運転 入/切 **を押す。**

■運転ランプが消灯します。
■リモコン画面が時計表示のみになります。
●別売の台所リモコンと合わせてお使いの場合、台所リモコンの 運転 入/切 を押しても運転は停止できます。

シャワーの湯量が少ないとき（低水圧）

◆給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをおすすめします。この場合、給湯温度設定スイッチの または 高温設定 2秒押しで湯温を 60℃に設定して使われることをおすすめします。
60℃設定にすると、高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせし、
設定中は常に 高温 が2秒間隔で点滅します。
台所リモコンから『あついお湯が出ます』と、
音声でお知らせします。
◆湯と水をミキシングして使用する場合、
湯温調節が難しい場合があります。
このとき、給湯栓は全開で固定し、水の
量で湯温を調節すると比較的やさしく
調節できます。

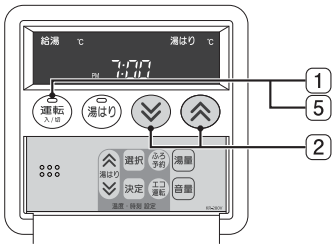


お知らせ

◆お湯の温度は季節や配管の施工状態により異なります。リモコンでの設定は目安としてお使いください。（給湯温度の表示は目安です。湯温を確認してから使用してください）
◆一度設定した温度は変更するまで記憶しています。
設定した温度が60℃の場合は、運転 入/切 を押し（切の状態）、次に 運転 入/切 を押したとき（入の状態）安全のため 42℃に変更されます。（37 ～ 50℃設定のときは、そのまま同じ温度が表示されます）
◆お湯の使い始めはしばらくの間、配管内の冷たい水が出ます。
お湯が出るまでの時間は、配管の長さによって異なります。
◆夏期など給水温度が 30℃近くなりますと、低温に設定しても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
◆トイレの水を流したりし、給水圧が変化した場合、一時的に湯温が変動することがあります。
◆ 優先 が点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。
使いたいリモコンを 優先 にする場合は 16 を参照してください。
◆浴室リモコンのみでご使用の場合は 優先 は点灯しません。

使用方法　お湯を使う（温度設定）台所リモコンでの操作

○シャワーや給湯の温度をお好みの温度に設定します。
（工場出荷時の設定は 42℃です。）



1 運転 を押す。
- ■ 運転ランプが点灯し、表示画面が点灯します。
- ● 表示部に 優先 、給湯設定温度が点灯していることを確認します。

2 ≫ ≪ で温度を変更する。
- ■ 温度は次のように設定できます。37～50℃（1℃刻み）、60℃
- ■ リモコンから「給湯温度が変更されました」と音声でお知らせ します。
- ■ 60℃に設定すると 高温 が点滅し、「あついお湯が出ます」と音声でお知らせします。浴室リモコンでは、高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせします。
- ● スイッチは1回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、≪ を押し続けると45℃までは連続で変わります。
- ◆ 一度設定すれば記憶します。
（電源投入時または停電復帰後は 42℃設定になります）

［60℃設定の状態］

給湯温度設定：37～50℃（1℃刻み）
60℃

3 シャワー栓または給湯栓を開ける。
- ■ 燃焼を開始し、🔥 が点灯します。
- ■ しばらくしてお湯が出ます。
（お湯が出るまでの時間は、配管長さによって異なります）

お湯を止めたいときは

4 シャワー栓または給湯栓を閉める。
- ■ 燃焼が止まり、🔥 が消灯します。

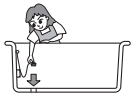
5 運転 を押す。
- ■ 運転ランプが消灯します。
- ■ リモコン画面が時計表示のみになります。

使用方法　湯はり運転

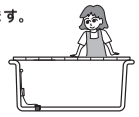
○設定した湯はり温度・湯量で「湯はり」運転をします。
（工場出荷時の設定は、湯はり温度42℃、湯量140リットルです。）

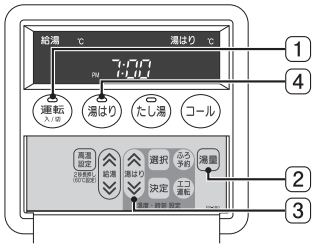
運転前の準備と確認

1 排水栓を閉めます。
お湯はりをする前に
必ず排水栓を閉めます。



2 浴そうにふたをします。
この機器は浴そうに
ふたをしたまま
お湯はりができます。

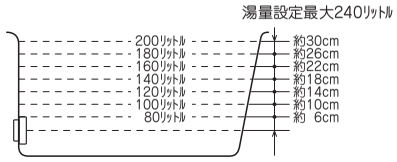




1 運転 を押す。
- ■「運転ランプ」が点灯し、給湯設定温度が点灯します。

2 湯量 でお湯はり量を設定します。
- ■ 湯量は次のように設定できます。
80～240リットル 9段階（20リットル刻み）
- ● 湯量 を押すたびに、20リットルきざみの9段階まで選べます。
一度設定すれば記憶します。
- ◆ 最後に 湯量 を押した後、約5秒後に湯量が確定し、現在時刻表示に戻ります。
- ◆ 湯量の目安は専用浴そうの場合、ふろアダプタの中心から上方約6cmから約4cm（20リットル）きざみの9段階となっています。
- ◆ 湯量設定を多くすると浴そうによっては、あふれる場合があります。

［湯量 140 リットルの場合］



湯量設定の目安

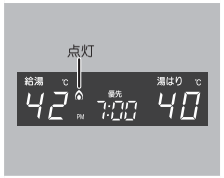
使用方法　湯はり運転

3 湯はり **でお湯はり温度を変更する。**

■湯はり設定温度が点灯します。
■温度は次のように設定できます。
37～48℃（1℃刻み）
●スイッチは1回押すたびに1℃ずつ調節できますが、 を押し続けると45℃までは連続で変わります。

4 湯はり **を押す。**

■「湯はりランプ」・ が点灯し、お湯はりが開始されます。
■別売の台所リモコンと合わせてお使いの場合は、湯はり運転開始時に、台所リモコンから『お湯はり運転を開始します』と、音声でお知らせします。



5 **設定湯量になると自動でストップ。**

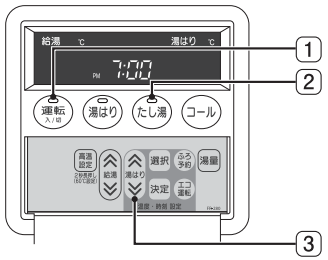
■おふろの設定湯量までお湯はりすると、「湯はりランプ」・湯はり温度・ が消灯し、お湯はり完了ブザー『ピーピーピー』でお知らせします。
◆別売の台所リモコンと合わせてお使いの場合は、台所リモコンからもメロディでお知らせします。

お知らせ

●お湯はり中に 運転 、 湯はり を押すと、お湯はり運転を停止します。
◆電源投入時または停電復帰後のお湯はり温度は42℃、湯量140リットルになります。
◆浴そうに残り湯がある場合は、その水量分を見込んで湯はり温度と湯はり量を設定してください。残り湯の量によっては、最低の湯量設定80リットルでも浴そうからお湯があふれる場合があります。
◆自動お湯はり中でも給湯栓を開けるとお湯を使用することができます。給湯栓を開けると給湯温度は給湯設定温度となります。
この時、お湯はりはいったん停止します。給湯使用が終わるとお湯はりを再開します。
※給湯を使用した時間だけ、お湯はり時間は長くなります。
※配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。
◆冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。
◆お湯はりをするときは浴そうの排水栓はしっかり閉めてください。
◆お湯はり時間は最大1時間です。水圧が低く、設定湯量が多い場合、設定湯量をお湯はりする前にお湯はり運転が停止する場合があります。

使用方法　たし湯運転

○設定温度のお湯を浴そうのふろアダプタから約20リットルたし湯［注湯］して、浴そうの湯量を増やします。



1 運転 **を押す。**

■「運転ランプ」「給湯設定温度」が点灯します。

2 たし湯 **を押す。**

■「たし湯ランプ」「湯はり設定温度」が点灯します。
■浴そうのふろアダプタから、お湯（約20リットルのたし湯［注湯］）が出て が点灯します。

3 湯はり **でたし湯温度を変更する。**

●スイッチは1回押すたびに1℃ずつ調節できますが、 を押し続けると45℃までは連続で変わります。
◆たし湯温度を変更しても湯はり温度は変更されません。
◆電源投入後または停電復帰後は42℃となります。

［43℃の場合］

たし湯温度設定：37～48℃（1℃刻み）

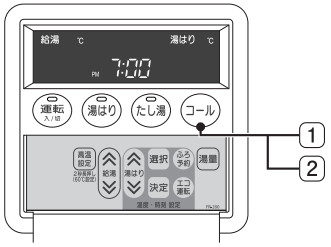
お知らせ

◆たし湯温度は、記憶されません。次回のたし湯温度は、お湯はり温度になります。
◆たし湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、たし湯運転を中断し、給湯使用後たし湯運転を再開します。
●たし湯中に 運転 、 たし湯 を押すと、たし湯運転を終了します。

取扱説明書
HK-S516RFWH-QN
HK-S516RFCH-QN
HK-S516RFWH-FQN
HK-S516RFCH-FQN
1105522116491105522116501105522116471105522116481105522116491105522116501105522116471105522116481105522116491105522116501105522116471105522116481

使用方法　コール機能を使う

○コール機能は別売の台所リモコンの有無で動作が異なります。



1 (コール) を押す。

浴室リモコン単独でお使いのとき

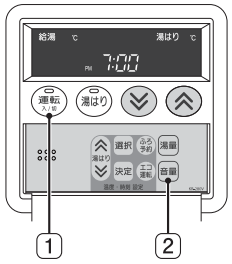
2 浴室リモコンのスピーカーから呼出音を出します。
- ■「ピッピッピッピッ・・・」と3分間鳴り続けます。
- ◆呼出音の音量調節はできません。
- ●もう一度 (コール) を押すと呼出音は止まります。

台所リモコンと合わせてお使いのとき

2 台所リモコンのスピーカーから呼出音でお知らせします。
- ■「ピッピッピッピッ」が4回鳴ります。
- ◆呼出音の音量調節はできません。
- ●(コール) を押し続けると鳴り続け、はなすと止まります。

使用方法　音量を変える（台所リモコンのみ可能）

○リモコンの音声案内の音量を調整します。（工場出荷時の設定は標準です。）



1 (運転) を押す。
- ■運転ランプが点灯し、表示画面が点灯します。

2 [音量] を押す。
- ■スイッチを押すたびに切替わります。

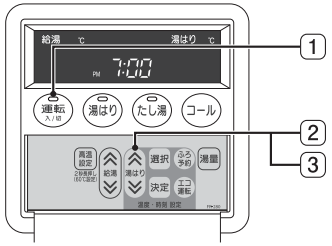
小 → 標準 → 大 → 消す

- ◆呼出音の音量は変更されません。

小　：『音声は小です』
標準：『音声は標準です』
大　：『音声は大です』
消す：『音声を消します』
とお知らせします。

使用方法　表示画面のモードを切替える

○表示画面のモードを節電モード⇔常時点灯モードに切替えができます。
機器が運転中の場合は、切替えることができません。
（工場出荷時の設定は節電モードです。）



1 (運転) を押す。
- ■運転ランプが点灯し、表示画面が点灯します。

2 (湯はり) の上下を同時に約3秒間押す。
- ■切替え音「ピッピッ」でお知らせします。
- ●節電モードから常時点灯モードに切替わります。
- ●表示画面が常時点灯します。

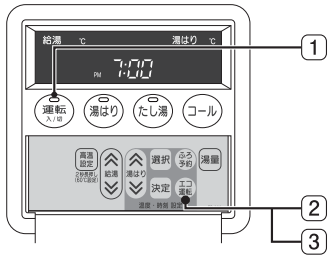
3 もう一度節電モードにする場合は、(湯はり) の上下を同時に約3秒間押す。
- ■切替え音「ピッピッ」でお知らせします。
- ●常時点灯モードから節電モードに切替わります。
- ●表示画面が消灯します。

お知らせ
- ◆通常は、節電モードをおすすめします。
- ◆節電モードでは、設定した時間操作しないと画面表示が消灯します。
  消灯中にお湯を使ったり、スイッチを押すと点灯します。（設定方法は 31 、32 を参照してください。）
- ●台所リモコンをお使いの場合は、台所リモコンも同様の操作で表示モードを変更できます。
- ◆浴室リモコン、台所リモコン別々に設定できます。
- ◆節電モードでも給湯設定温度が60℃に設定されている場合、安全のため画面表示は消灯しません。
- ◆本操作は 31 、32 の [ヒート] 設定切替えと同期します。（表示画面が消灯するまでの時間は 31 、32 で確認、変更してください。）

使用方法

エコ運転モードを設定する

○給湯量をひかえめにし、お湯はり温度を最適にして節約します。



1 運転 入/切 を押す。

■「運転ランプ」「給湯設定温度」が点灯します。

2 エコ運転 を押し、表示部の エコ を点灯させます。

エコ運転をやめたいとき

3 再度 エコ運転 を押し、表示部の エコ を消灯させます。

お知らせ

- ◆エコ運転設定中は、水栓やシャワー水栓で水を混合せずにお湯を使用してください。（設定した湯量での電子音お知らせや制限流量にすることができなくなる場合があります。）
- ◆お湯を使用中に、エコ運転設定を解除しないでください。（湯温が不安定になる場合があります。）
- ◆32 の H1、H2、F1 のいずれかの設定が on になっていないと エコ 表示は点滅します。

エコ運転制御他の個別設定方法

1 運転 入/切 を切る。

■運転ランプが消灯します。
■リモコン画面が時計表示のみになります。

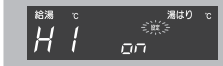
2 エコ運転 を押すと、エコ運転の個別設定モードになります。

3 選択 を押すたびに、表示部の表示記号が変わります。

H1 → H2 → F1 → c1 → c2 → PE → H1・・・ （表示記号は 32 を参照してください。）

■表示部に 設定 が点滅し、時計表示部に oF もしくは on が点灯します。

4 湯はり で、oF → on もしくは、on → oF に切替えます。

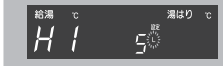


5 決定 で 設定 が点灯に変わり確定します。

■表示記号が H1、H2、c1、c2 のとき on にすると、時計表示部に設定値が表示され末尾のアルファベット（Lもしくは分）が点滅します。（※）

湯はり で、お好みの設定量、設定時間、表示設定に変更し、決定 で確定します。（※）

（Lもしくは分が点灯に変わります）



6 再度 エコ運転 を押すと、個別設定を終了します。

※ 表示部に表示される設定値の詳細は、32 を参照してください。

使用方法

エコ運転モードを設定する

お知らせ
エコ運転機能には下記のような内容が用意されています。
必要に応じて、リモコンで設定をおこなってご使用ください。
（設定方法は 31 を参照してください。）

※ 工場出荷時は、全て ON にて出荷しています。

区分	エコ運転No.	項　目	内　　容	節水	節ガス	節電
給湯	H1	連続使用量お知らせ	給湯連続使用中、設定した湯量をご使用のたびに電子音でお知らせします。 ● 10Lに設定した場合、連続10L使用時に電子音「ピッ」、さらに継続して10L（トータル20L）使用時に電子音「ピッピッ」など連続使用量を電子音でお知らせします。 ◆ 連続使用量お知らせ量の設定（設定方法は 31 を参照してください。） 5L ～ 50L［1L 刻み］ （工場出荷時設定値：10L）	（○）		
給湯	H2	給湯出湯流量制限	リモコンで上限の給湯流量を設定し、給湯流量を制限します。 ◆ 給湯制限流量の設定（設定方法は 31 を参照してください。） 6L（L/ 分）～ 12L（L/ 分）［1L（L/ 分）刻み］で設定できます。 （工場出荷時設定値：8L（L/ 分）） ※ 2ヶ所以上の水栓でお湯を使用すると、1つの水栓で使用できるお湯の量はさらに少なくなります。	○		
湯はり	F1	外気温度連動湯はり	前回以前の湯はり時の外気温を学習し、当日の湯はり温度を補正します。 ●外気温度が高い場合に、湯はり温度を低く、外気温度が低い場合は湯はり温度を高くします。 ※ 安全のため、43℃以上の設定にはなりません。		○	

その他の設定項目として、下記内容の設定ができます。

区分	No.	項　目	内　　容	節水	節ガス	節電
その他	C1	省エネ表示	リモコンの表示画面を自動で消灯するまでの無操作時間を設定します。 ※浴室リモコン、別売台所リモコン別々に設定可能です。 ◆ LED消灯時間の設定（設定方法は 31 を参照してください。） 5分～ 30分［1分刻みで］で設定できます。 （工場出荷時設定：on 30分）			○
その他	C2	湯はり中時計表示	湯はり運転中、時計表示部に表示する項目を選択します。 oF：時計表示（工場出荷時設定） on → 1：湯はり量 カウントダウン ●お湯はり完了までの湯はり量を表示します。 on → 2：湯はり時間 カウントダウン ●お湯はり完了までのおおよその時間を分単位で表示します。 ※流量変動等により実際の時間と差が出る場合があります。		（○）	
その他	PE	個別設定の初期化	31 の 3 で PE を選択し、4 で on にして 決定 を押すと、『ピッピッピッ』と鳴り、上記 H1 ～ C2 の全ての設定を工場出荷時の状態に戻します。			

※ C1（省エネ表示）と C2（湯はり中時計表示）は、30 の エコ運転 と関係なく、本設定で機能します。

このようなときは

凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

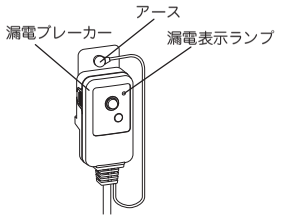
○冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。
次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1．通常の寒さのときの予防方法

凍結予防ヒーターによる方法

漏電ブレーカーを抜かない

◆ 抜けていると凍結予防ヒーターが作動しません。
◆ 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。
漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。 36



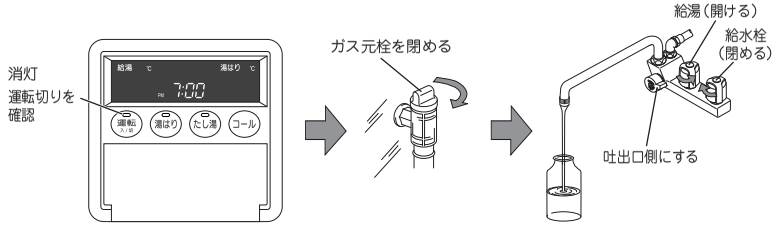
お知らせ

◆ この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、漏電ブレーカーをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。
◆ 凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。
◆ ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時－15℃まで、有風（4m／秒）時－10℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
◆ ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。
◆ この機器は外気温が－15℃以下になる場合には、凍結予防のために水抜き処置が必要です。 34

2．冷え込みの厳しいときの予防方法

通水による方法

1 リモコンが運転「切」（運転ランプ消灯）になっていることを確認する。
2 ガス元栓を閉める。
3 おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん2本分）ぐらいの水を浴そうに流し込む。
◆ 流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



このようなときは　凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

※ これらの処置をしても凍結するおそれがある場合は、水抜き 34［長期間お湯を使用しないとき］を行ってください。

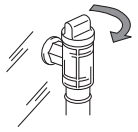
お知らせ

- ◆凍結により、給湯栓・シャワー栓・ふろアダプタから水が出ないときは、使用しないでください。
- ◆凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
- ◆再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
- ◆凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（有料）
- ◆特に寒い場合など、給湯が可能であっても、ふろ配管が凍結している可能性があります。浴そうへの最初のお湯はりは、給湯栓を開け吐出口から行ってください。
- ◆万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。

このようなときは　長期間お湯を使用しないとき

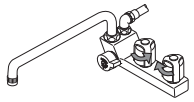
○長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

1 ガス元栓を閉じる。



2 給水元栓を閉じる。

3 給水栓、給湯栓を開ける。



4 水抜栓を外し、配管内の水が抜けたら元通りにする。（給水、給湯配管に水抜栓がある場合）

5 浴そうの水を排水する。

6 漏電ブレーカーをコンセントから抜く。

※給水及び給湯配管に水抜栓がない場合は電源プラグをコンセントから抜いたり、配電盤のブレーカーを「切」にしたりしないでください。

●再使用については「初めてお使いいただくときは」18 にしたがってください。

必要なときに　点検・お手入れ

⚠ 注 意

■ お手入れの前には、ガス元栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行う
- ● 機器使用中および使用終了直後は、排気口や機器本体が高温になっていますので、やけどするおそれがあります。

高温注意

■ 機器やリモコンは、絶対に分解しない
- ● 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。

分解禁止

点検のポイント

- ● 機器の上やまわりに燃えやすいものがありませんか。4
- ● 給気口・排気口が布やビニールなどでふさがっていませんか。4
- ● 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
- ● ガスのにおいはしませんか。3 ガス漏れに気づいたとき
- ● 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。5
- ● 機器の外観に異常は見られませんか。
- ● 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。36 漏電ブレーカーの点検

お 願 い

機器外観やリモコンのお掃除をされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけて拭きとったあと、からぶきします。

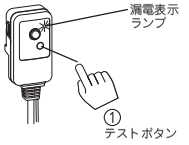
- ◆ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
- ◆シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれのおそれがあります。
- ◆リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。リモコンの故障の原因になります。
- ◆ふろアダプタのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。変色、変形のおそれがあります。
- ◆浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。

必要なときに　点検・お手入れ

■漏電ブレーカーの点検

必ず行う

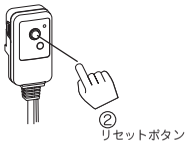
- 漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を行ってください。
  ①　テストボタンを押します。　→漏電表示ランプが点灯します。
  ②　リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。
- 月に1回以上の作動確認を行ってください。



※ 正しく作動しないときは、機器の使用を止め、漏電ブレーカーを抜いて、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。

※ 点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら漏電ブレーカーを抜き、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。

※ 作動確認後は設定していた温度、湯量、現在時刻、自動お湯はり運転、予約時刻などが工場出荷時の設定になります。
・給湯温度　42℃　　・湯はり湯量　140L　　・現在時刻　－：－－
・湯はり温度　42℃　　・ふろ予約時刻　PM 7：00

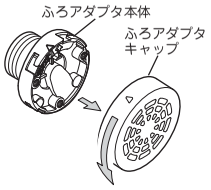


■ふろアダプタのお手入れ

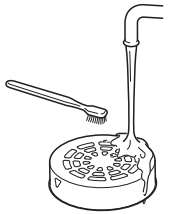
必ず行う

- ふろアダプタの汚れや詰まりのお掃除は、ふろアダプタキャップを取外して水で洗います。
- ふろアダプタキャップが目づまりしたまま使用しますとお湯はり運転が正常に動作しなかったり、故障の原因になりますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

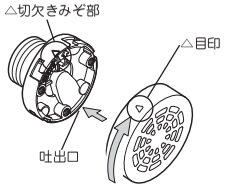
① ふろアダプタキャップを左へ少し回してから引き外します。



② ふろアダプタキャップを歯ブラシ等で水洗いします。



③ ふろアダプタキャップの△目印を△切欠きみぞ部に合わせてはめ込み、右に止まるまで回して固定します。



お知らせ

- ふろアダプタキャップは、必ず正常に取付けて使用してください。外したままや、正常に取付けられていない状態で使用しますと故障の原因になります。

必要なときに　あんしん点検について

機器の長期間ご使用時の「あんしん点検」（有料）のおすすめ

本製品は、設計上の標準使用期間※を１０年と算定しておりますので、ご使用開始から１０年前後をめどに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください（無料修理保証期間は保証書を参照願います）。

「あんしん点検」について

【点検の内容について】

- 「あんしん点検」は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。
  （法定点検ではありません）
- 「あんしん点検」は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- 点検の実施は、東京ガスが委託した事業者が行います。
- 点検の内容および点検基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」に定められた法定点検の内容、基準を参考に、当社で設定しています。
  （例：製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など）
- 点検終了後、「あんしん点検」の結果を、「点検作業票」にてお知らせします。
  点検の結果、何らかの整備（修理・部品の交換など）が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただき、お客さまにご了解をいただいた上で行います。

【点検料金について】

- 点検は有料で実施させていただきます。点検料金は、出張料、技術料などを合計した金額となります。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。
  なお、「あんしん点検」の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
  http://home.tokyo-gas.co.jp/userguide/anzen/tg/anshin_tenken.html

【点検を依頼されるとき】

- 「あんしん点検」（有料・任意点検）については下記までお問い合わせください。

東京ガスお客さまセンター

03-3344-9199

●受付時間　月曜日～土曜日　9:00～19:00
　　日曜日・祝日　　9:00～17:00

故障かな？　修理を依頼される前に

次のことをお調べください

現　　象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。36 ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。34
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを２ケ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 ●水量を絞りすぎていませんか。(夏) ●給水元栓が全開になっていますか。
設定した温度、時刻などが記憶されていない	●停電が起きていませんか。 ※１秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度、時刻、湯量等が初期値になります。36
給湯栓から出るお湯の量が少ない	●エコ運転を設定していませんか。30～32 ●２ヶ所以上の水栓でお湯を使用していませんか。21
おふろのお湯がぬるい	●残り湯がある状態でお湯はり運転をしていませんか。 ●混合水栓に逆止弁はついていますか。 ●エコ運転を設定していませんか。

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理　　由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
運転スイッチが切れる。	給湯又はシャワーを連続１時間以上使用しますと、消し忘れ防止のため運転スイッチを切りにし、燃焼を停止します。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後約５分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
寒い日に排気口から白い湯気が出る。	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
お湯はりまたは、たし湯を始めるとふろアダプタからポコポコ音がして泡が出る。	お湯はりホース配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
排水ホースから少量のお湯が出る。	この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。 ●使い始めと使い終りに少量のお湯が出ますが異常ではありません。 ●大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動お湯はり運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。
給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約 2L/ 分以下）と消火します。 また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯が出ない。	夏期水温が 30℃近くなりますと、給湯設定温度を低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
お湯はり中に、配管から音がする。ふろアダプタから白いお湯が出る。	湯はり中には、湯はり量を絞る場合があり、水圧が高い場合など配管から音がしたり、お湯が白くなる場合があります。 また、高水圧地域では、水切り音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
中和器ドレンホース近くの床が白くなる。	この機器は高効率のため、給湯使用中にドレン水が出ます。ドレン水に中和剤成分のカルシウムが溶けだし、床が白くなることがありますが、器具の異常ではありません。
運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモータが動く音（クックッ、クー）がする。	お湯を使用するときに、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音で、異常ではありません。

故障かな？

エラー表示がでたら

エラーコードの表示をお調べください

表示	故障と思われる範囲または原因	処　置
111 121	給湯不着火 給湯使用時、途中消火（失火）	ガス元栓の全開を確認し、運転スイッチを切りエラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
140	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。 給湯・湯はりが使用できなくなりますので、修理依頼をしてください。
141	出湯温異常	供給ガス圧の低下や、熱交換器のつまり等の故障が考えられます。このエラーが表示された場合は約５分間お湯を使用することができません。たびたびエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
291	中和器・ドレン経路づまり	中和器ドレン経路のつまりが考えられます。 エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。 それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。 なお、冬季は凍結により 291 を表示する場合がありますので、解けるのを待つか、修理依頼をしてください。
101 991	ファンほこりづまり	十分な給湯能力が出ない、または給湯・湯はりが使用できない状態ですので、修理依頼してください。
921 931	中和器交換警告	中和器の交換時期が近づくと 921 を表示し、しばらくすると 931 となり機器が使用できなくなります。中和器の交換が必要ですので、修理依頼してください。

⚠ エラーコードが点滅しているときは

- この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）
- エラーコードの点滅解除は、運転 入/切 を押します。
- 機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（ 310, 311, 331, 721, 610, 700, 710 など ）が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。
- 使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、漏電ブレーカーの作動が考えられますので、36 の要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

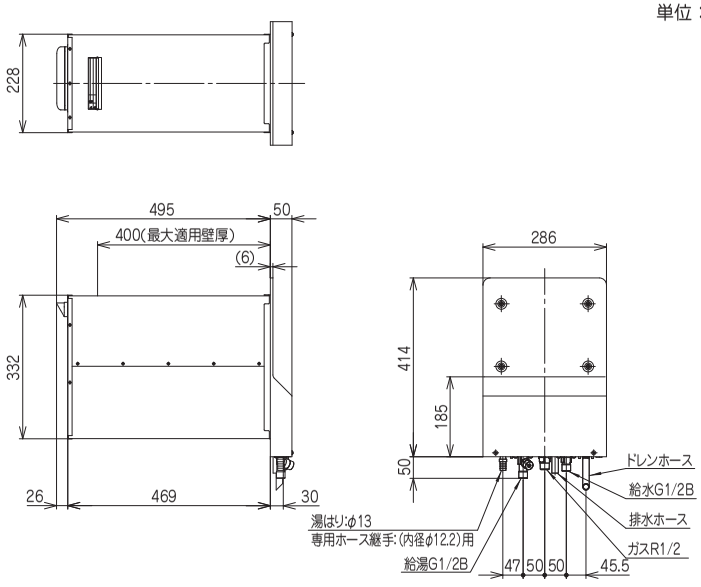
その他

メ　モ

その他　寸法図

■本　体　（この図は、HK-S516RFWH-FQN 型です。）

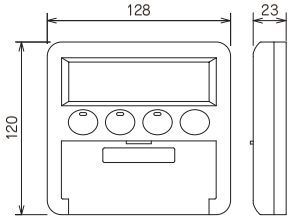
単位：mm



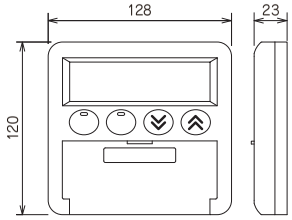
■リモコン

単位：mm

浴室リモコン［FR-280］



台所リモコン（別売部品）［KR-280V］



その他　仕様

■　HK-S516RFWH-FQN, HK-S516RFCH-FQN 仕様表

項目		仕様		
外形寸法（本体）		幅 286 ×高さ 464 ×奥行 545mm		
		幅 286 ×高さ 464 ×奥行 520mm		※1
壁貫通部寸法		幅 228 ×高さ 332 ×奥行 495mm		
		幅 228 ×高さ 332 ×奥行 470mm		※1
質量（本体）		21 kg		
		21 kg		※1
接続寸法	ガス	R1/2（TU 接続）		
	給水・給湯	G1/2B		
	ふろ	φ 13mm 専用継手		
標準ガス	ガス種	13A	12A	
消費量 kW	給湯 最大	30.0（25,800kcal/h）	28.5（24,500kcal/h）	
	給湯 最小	5.0（ 4,300kcal/h）	4.8（ 4,100kcal/h）	
電気定格	電源	AC100V（50 / 60Hz）		
	消費電力	使用最大：60 W		
	凍結予防ヒーター	80 W		
最低作動水圧		19.6 kPa（0.2kgf/cm^2）		
使用水圧		53.9（動水圧）～ 784kPa（0.55 ～ 8kgf/cm^2）		
制御システム	給湯	フィードフォワード＋フィードバック式ガス比例制御		
	ファン制御	DC ファンによる回転数制御		
排気温度		260℃以下		
安全装置		・立消え安全装置　・過熱防止装置　・ファン回転検知 ・沸騰防止装置　・漏電ブレーカー　・過圧逃し弁 ・残火安全装置　・凍結予防用ヒーター		

※1 は HK-S516RFCH-FQN の寸法、質量です。

■　出湯能力　　＊印は換算相当出湯能力を示す。

ガス種	標準号数（号）		温度上昇と標準出湯量（ﾘｯﾄﾙ／分）				
			水温 +15℃	水温 +25℃	水温 +30℃	水温 +40℃	水温 +50℃
13A	能力大	16	＊ 26.7	16.0	13.3	10.0	8.0
	能力小	2.5	4.1	2.5	–	–	–
12A	能力大	15	＊ 25.0	15.0	12.5	9.4	7.5
	能力小	2.4	3.9	2.4	–	–	–

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて

アフターサービスのお申し込み

アフターサービス（点検・修理）を依頼される前に
「修理を依頼される前に」38、39 を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、または
もよりの東京ガスへご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1．お客さま名、住所、電話番号、道順
2．品　名・・・HK-S516RFWH-FQN　（機器コード　11-055-22-11647）または
　　HK-S516RFCH-FQN　（機器コード　11-055-22-11648）
3．故障、異常の現象・・・（表示ランプの状態・エラーコードの表示など、できるだけ詳しく）
4．訪問ご希望日

転居される場合

●転居される場合には、転居先のガスの種類や設置条件を確認の上、お買い求めの販売店、または
もよりの東京ガスにご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や
設置条件によっては設置できない場合もあります。

保証・補修について

●保証期間中の故障修理について
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱
説明書（保証書付）を大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスにご相談ください。修理によって機能が維持できる
場合は、お客さまの要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品（機能を維持する
ために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後 10 年間です。

定期点検のおすすめ（有料）

●機器をより安全にお使い頂くために、定期的（年に一回程度）に点検を受けてお手入れされること
をおすすめします。
なお、本機器は給水用具（逆流防止装置）を内蔵しております。給水用具（逆流防止装置）に関し
ては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおす
すめします。時期は４～６年に１回程度の点検をおすすめします。
点検はお買い求めの販売店、またはもよりの東京ガスにご相談ください。

その他

●BL認定品には、機器の前面に BL マークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
一般財団法人ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

保証書

品　　名　HK-S516RFWH-FQN
　　HK-S516RFCH-FQN
型 式 名　WFK-S1600SA
　　WFK-S1600SA-C

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1　保証期間は、お買い上げの日から２年間とし本体（リモコンを含む）を対象とします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
　熱交換器……３年
2　万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出下さい。原則として、出張修理いたします。
3　サービス員がお伺いした時に、保証書をご提示下さい。
4　保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
（１）住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
（２）取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
（３）器具を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合はのぞきます）
（４）お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
（５）建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象
（６）強い腐食性の空気環境に起因する不具合
（７）犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
（８）火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
（９）電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
（１０）指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
（１１）給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
（１２）温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
（１３）本保証書を紛失された場合
5　無料修理やアフターサービス等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　東京ガス株式会社
〒105-8527　東京都港区海岸１丁目５番２０号

保証責任者　株式会社 ハウステック
〒173-0004　東京都板橋区板橋３―９―７（板橋センタービル）

■お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日

販　売　店		取扱者	
住　　所			
電 話 番 号			

修理記録
この本体の修理記録は、前カバー裏に添付の作動フローチャートに記録します。

■お客さまへ
1　この保証書をお受け取りになる時に、販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2　本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3　無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の頁をご覧ください。
4　この保証書によって保証書を発行している者（保証履行者・保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。